平成26年度

わかりやすいことしの予算

市民総参加による「和のまちづくり」と
市民総幸福の限りない増進と発展を目指す予算

平成26年5月　京都府京丹後市

はじめに

市民の皆さんには、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

平成16年4月1日に旧6町の合併により京丹後市が誕生し、平成26年度は合併満10周年となります。この10周年の記念の節目に符号するように、本市をはじめ北近畿を巡っては、今年以降、産業や社会の抜本的な活性化に欠かせない、京阪神、中京圏、北陸などとの高速交通アクセスの飛躍的な向上が図られる、いわば「北近畿新時代」をいよいよ迎えます。この節目に改めて、経済の発展と社会の活性化を総力をあげて推進するため、市民全員総参加により、市民おひとりおひとり、みんなの力を合わせて未来に進む「和のちからが輝くまちづくり」を様々な分野で推進するとともに、これによって、誰ひとり置きざりにされない、誰もが幸福実感をますます高める「市民総幸福のまちづくり」を着実に進めたいと考えています。

ついては、市の予算は、このような施策を体系的に進めていく行政サービスの大要を定めるものですが、平成26年度の予算に計上した京丹後の仕事の主な内容をわかりやすくお知らせし説明するため、例年に引き続き、平成26年度「わかりやすいことしの予算」を発行することとしました。

この冊子では、図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけるとともに、本市に関連する京都府の予算の一部についても、掲載しています。行政と市民の皆さんが力をあわせて、より良いまちづくりを進めるきっかけとなれば幸いです。

平成26年5月

京丹後市長　中　山　　泰

目　次

○まちづくりの柱（主な新規・拡充事業）
産業の発展と雇用の促進 ……P4
京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進 …P6
未来へのまちづくりの振興 ……P8
安心・安全のまちづくりの促進 ……P10
○平成26年度の主なゼロ予算事業 ……P12
○健全な行財政基盤づくり（主な取り組み）……P13
○平成26年度の主な仕事 ……P14
○平成26年度京都府の主な予算（丹後関連）……P32
○グラフでみるきょうたんごの予算 ……P34

表紙写真：峰山高校書道部による市制10周年横断幕（平成26年4月1日 市制10周年記念セレモニーにて）

京丹後

平成26年度予算

市民総参加による「和のまちづくり」と市民総幸福の限りない増進と発展を目指す予算

一般会計予算

341.9億円

（対前年度当初予算比 8.9％増）

平成26年度会計別予算規模

会計名称		平成26年度当初予算	平成25年度当初予算	平成25年度との比較
一般会計		341億9,000万円	314億円	27億9,000万円　(8.9%)
特別会計	国民健康保険事業	70億7,400万円	71億2,000万円	△4,600万円　(△0.6%)
	国民健康保険直営診療所事業	4億1,400万円	4億2,800万円	△1,400万円　(△3.3%)
	後期高齢者医療事業	7億円	6億6,300万円	3,700万円　(5.6%)
	介護保険事業	58億1,400万円	55億　200万円	3億1,200万円　(5.7%)
	介護サービス事業	6億8,900万円	7億3,400万円	△4,500万円　(△6.1%)
	簡易水道事業	15億8,300万円	16億9,000万円	△1億　700万円　(△6.3%)
	集落排水事業	4億　300万円	4億3,100万円	△2,800万円　(△6.5%)
	公共下水道事業	27億8,500万円	26億9,100万円	9,400万円　(3.5%)
	浄化槽整備事業	2億5,100万円	2億2,100万円	3,000万円　(13.6%)
	工業用地造成事業	1億9,300万円	1億9,460万円	△160万円　(△0.8%)
	宅地造成事業	4,500万円	4,500万円	0万円　(0.0%)
	市民太陽光発電所事業	2,670万円	3億8,300万円	△3億5,630万円　(△93.0%)
	峰山財産区	640万円	650万円	△10万円　(△1.5%)
	五箇財産区	170万円	170万円	0万円　(0.0%)
	特別会計合計	199億8,580万円	201億1,080万円	△1億2,500万円　(△0.6%)
企業会計	水道事業	12億3,593万円	9億8,340万円	2億5,253万円　(25.7%)
	病院事業	80億9,305万円	74億9,303万円	6億　2万円　(8.0%)
	企業会計合計	93億2,898万円	84億7,643万円	8億5,255万円　(10.1%)
京丹後市総合計		635億　478万円	599億8,723万円	35億1,755万円　(5.9%)

総額は、前年度当初予算と比較すると35億1,750万円、5.9％の増となっています。一般会計では、27億9,000万円、8.9％の増となります。

一般会計とは ➡ 市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路や公園の整備など、さまざまな分野の仕事を行うための会計で、多くの事業やサービスは、この一般会計で行っています。

特別会計とは ➡ 国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。市では、14の特別会計を設置しています。

公営企業会計とは ➡ 地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うために設けられている会計です。

産業の発展と雇用の促進

主な新規・拡充事業

省エネ・子育て支援・バリアフリー化の改修工事を支援します

新規 スマート・エコ等住宅改修費助成金
【土木費】2,000万円
（建設部　都市計画・建築住宅課）

快適で暮らしやすい住環境の整備を促進するため、エネルギー効率が高く環境への負荷が小さい住宅（スマート・エコ住宅）及び子どもや高齢者の方などが安全で安心して暮らせる住宅改修を行う場合、その経費の一部について助成します。

○助成金額
対象金額：50万円以上
補助率　：1/10
（上限10万円）

※平成26年度から平成27年度までの2年間限定で各年度の予算額の範囲内で助成します。

新経済戦略 コミュニティビジネスの創出・育成

新規 コミュニティビジネス応援補助金
【総務費】1,000万円
（企画総務部　企画政策課）

コミュニティビジネスとは、さまざまな地域課題に対し、ビジネスの手法を用いて解決を図り、また、その効果が地域に還元される取り組みをいい、新たにコミュニティビジネスに取り組む地域活動団体等を支援します。
○補助率：3分の2（上限200万円）

水と緑の里・コミュニティビジネス検討会の様子

新経済戦略 工場等の立地を促進します

拡充 工場立地奨励金・企業立地助成金
【商工費】1,610万円
（商工観光部　商工振興課）

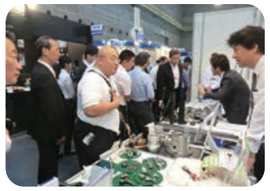
市内に工場等の事業所を新設又は増設した企業に対し、工場新増設奨励金又は企業立地助成金を交付します。これにより、市内における雇用の拡大と産業の集積を促し、本市の産業の振興を図ります。

赤坂工業団地

新経済戦略 機械金属業のイノベーションや新分野への展開を支援します

拡充 機械金属業イノベーション・未来開拓挑戦支援事業補助金
【商工費】317万円
（商工観光部　商工振興課）

丹後機械工業協同組合が行う販路開拓やビジネスマッチング、新たな事業分野への進出に向けた基盤構築や技術力向上等につながる活動を支援し、機械金属業事業者の経営基盤強化と機械金属業界全体の成長・発展を推進します。



新分野・新事業展開に向けた展示商談活動

新経済戦略 製造業の設備導入を支援します

新規 生産設備リース導入支援事業補助金
【商工費】135万円
（商工観光部　商工振興課）

製造業者が生産設備をリース方式で導入した際のリース料の一部を支援し、設備導入を促進します。
○補助対象契約
リース期間1年以上かつ年間100万円以上のリース料
○補助率
補助対象となるリース料の5分の1以内
○交付限度額
1企業につき月額5万円

生産設備機械

新経済戦略 ～絹(KINU)のふるさと京丹後を推進～

拡充 「シルクのまちづくり」推進
【商工費】232万円
（商工観光部　商工振興課）

シルクに関連する産業、歴史及び文化を持つ全国の市区町村等で組織する「シルクのまちづくり市区町村協議会」活動への参加などにより、シルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを推進します。
○シルクのまちづくり市区町村協議会への参加
○首都圏におけるシルク産業・シルク文化のPR活動
首都圏で開催されるイベントに、シルクPR隊を派遣し、シルク産地を発信します。
○絹のふるさと京丹後推進会議（仮称）の設立
シルクを活用したまちづくりプランの検討を行います。

丹後ちりめんPR～丹後小町踊り子隊～

新経済戦略 U・Ｉターン就職を促進します

拡充 就職促進・人材確保対策への支援
【労働費】237万円
（商工観光部　商工振興課）

一般求職者、大学等を来春卒業する予定の者やU・Ｉターン希望者などと、人材を求める地元事業者が会する「就職フェア」を開催し、地元への就職を促進します。また、U・Ｉターンによる人材を確保しようとする地元事業者に対して、市外合同説明会等への参加や都市部のU・Ｉターン希望者を招いて行う自社説明会、インターンシップの費用の一部を支援します。

昨年の「ふるさと就職フェアin丹後」の様子

インターンシップ▶学生が在学中に、自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験ができる制度で、大学と企業等との連携により行われます。

松本重太郎翁と京丹後市の魅力を都市部で発信

新規 松本重太郎シンポジウム（仮称）
【商工費】652万円
（商工観光部　商工振興課）

京丹後市（丹後町）出身で明治期の実業家である松本重太郎翁の偉大な功績、起業精神、経営哲学等を広く大阪市で発信する「松本重太郎シンポジウム（仮称）」を開催し、本市と関西圏との経済人材ネットワークの礎を作るとともに、市のＰＲやイメージ向上を図ります。

故　松本重太郎 氏

売れる米づくりを推進します

新規 京丹後米ブランド化推進事業
【農林水産業費】525万円
（農林水産環境部　農政課）

売れる京丹後米のブランド化を推進するため、消費者の求める安心・安全な米づくりの特別栽培米について、団地化の促進、規模拡大の取り組みを支援します。
○1ha以上の団地化に対する基本助成
2千円／10a以内
○前年度比規模拡大に対する加算助成
1千円／10a以内

特別栽培米▶地域の慣行レベルに比べて、農薬の使用回数が50％以下、化学肥料の窒素成分量が50％以下で栽培されたお米。

団地化された特別栽培米

地域産物のブランド化研究

新規 「京都そば」(仮称)のブランド化研究
【農林水産業費】57万円
（農林水産環境部　農政課）

そばの栽培による地域産物の育成及び耕作放棄地解消を図り、「京都そば」（仮称）としてブランド産地化することを目指し、実証研究・先進地視察等に着手します。

そば畑（丹後町岩木）

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

主な新規・拡充事業

「海の京都」推進を支援します

新規 「海の京都」推進事業補助金
【商工費】200万円
（商工観光部　観光振興課）

地域主導の「海の京都」事業を推進するため、「海の京都」京丹後市実践会議が実施する「海の京都」京丹後市マスタープランに記載された事業を支援します。

「海の京都」▶平成25年度から京都府が推進する観光まちづくり構想。内陸の観光地とは異なる魅力を持った府北部において地域主導で観光拠点を整備し、「海の京都」というキャッチフレーズのもと、集中的に発信していくもの。

宿泊価値を高める魅力の創出を目指します

新規 「夕日広場（仮称）」基本計画の策定
【商工費】432万円
（商工観光部　観光振興課）

「海の京都」の戦略拠点である浜詰地区において、夕日をシンボルにした広場の整備を進めます。

今年度については、その施設規模や内容、事業執行に係る概算事業費、将来にわたっての施設の運営や維持管理などについて、地域とともに検討しながら基本計画を策定していきます。

「夕日広場（仮称）」のイメージ図

小天橋～浜詰海岸の遊歩道整備に着手します

拡充 ロングビーチへの遊歩道整備着手
【商工費】567万円
（商工観光部　スポーツ観光・交流課）

北近畿一のロングビーチ
（小天橋～浜詰海岸）

京丹後市の美しい砂浜海岸を保全するとともに、年中にぎわう浜辺づくりを推進するため、小天橋海岸から浜詰海岸へ遊歩道を整備し交流人口の増加とともに地域の活性化を図ります。

日本一の砂浜づくりを推進します

新規 にぎわう日本一の浜辺づくり振興事業補助金
【商工費】279万円
（商工観光部　スポーツ観光・交流課）

年中にぎわう日本一の浜辺づくりを推進するため、サンセットビーチマラソン大会等の開催を支援し、交流人口の増加とともに地域の活性化を図ります。

○サンセットビーチランin京丹後
平成26年6月28日（土）浜詰海岸で開催予定

夕日ヶ浦の夕日（網野町浜詰）

かぶと山の整備に着手します

拡充 かぶと山園地の整備着手
【商工費】2,290万円
（商工観光部　観光振興課）

かぶと山展望台の更新に伴い、遊歩道やトイレ、駐車場等の休憩施設等の整備を行うことにより、新たな誘客につなげるとともに地域の活性化を推進します。

○整備期間
- 平成26年度～平成28年度

○主な整備予定
- 遊歩道850m
- 駐車場：バス5台、普通車20台

かぶと山から久美浜湾を望む

生ごみ分別に取り組む地域の拡大を加速します

拡充 生ごみゼロエミッションの推進
【衛生費】1,730万円
（農林水産環境部　環境バイオマス推進課）

市では、生ごみ資源化の取り組みを全市的に展開することとしており、生ごみ分別対象世帯数の目標を500世帯として対象地域の拡大を図るほか、市立保育所・幼稚園・小中学校の生ごみ（給食残渣等）の資源化を行います。

これに伴い、生ごみ資源化の取り組みを広く周知するため、ＰＲ画像を作成して出前講座等で活用するほか、市エコエネルギーセンターの生ごみ受入量の増加に対応するため、分別機への生ごみ投入用のベルトコンベヤを整備します。

また、分別機により異物と一緒に除去される有機物を効率的に資源化するため、小型たい肥化装置を市エコエネルギーセンターに設置します。

分別回収した生ごみは
エコエネルギーセンターへ

ゼロエミッション▶廃棄物を出さないこと。ある企業・産業で排出される廃棄物を、別の企業・産業の原料として使うなどして、トータルで廃棄物をゼロにしようというもの。

再生可能エネルギーの利活用を推進

新規 再生可能エネルギー導入促進支援補助金
【衛生費】560万円
（農林水産環境部　環境バイオマス推進課）

市民の皆さんをエネルギー創出の担い手として位置付け、市民参画によるエネルギー自給率の向上を目的として、再生可能エネルギー導入促進支援補助金を交付します。

個別の世帯を対象とした、太陽光発電設備、小型風力・水力発電設備、太陽熱利用設備、木質燃料利用設備、蓄電池の導入支援補助金に加え、借入により設備を導入した際の奨励金、製造事業者を対象とした省エネ対策生産設備の導入支援補助金を交付し、全市域での再生可能エネルギーの利活用を推進します。

太陽光発電設備（市民太陽光発電所　大宮サイト）

丹後と名古屋の方言・文化等について調査します

新規 丹後・名古屋の方言・文化等関連調査
【教育費】41万円
（教育委員会事務局　文化財保護課）

丹後と名古屋（東海）地方の方言等が類似していることから、方言・文化などについて調査研究を行い、今後の地域間交流につなげていきます。

市域全域がフィールドミュージアム（博物館）へ

新規 市制10周年記念実行委員会補助金
【総務費】860万円
（企画総務部　企画政策課）

市制10周年を迎え「北近畿新時代に向けた市民全員参加のまちづくり」をコンセプトに、本市の魅力を市内外に積極的に発信するため、京丹後市フィールドミュージアムや（仮称）京丹後花月などの実施を支援します。

○京丹後市フィールドミュージアム
本市全域を素晴らしい資源や魅力あるフィールドとして、全域をミュージアム（博物館）に見立て、山陰海岸ジオパークを活用した宝探しイベントやおもてなし観光（農家民泊・ホームステイ観光）など、本市の特色や魅力を活かした各事業を展開します。

○（仮称）京丹後花月
地域の宝である「人」に注目し、漫才など一芸に秀でた方々を発掘する公開オーディションを京丹後花月として開催し、元気なまちづくりにつなげます。（予選7月・8月、本選11月上旬）

市制10周年記念実行委員会設立総会の様子

市制10周年記念「大相撲京丹後場所」開催支援

新規 「大相撲京丹後場所」の開催支援
【総務費】220万円
（商工観光部　スポーツ観光・交流課）

市制10周年を記念し、日本古来の伝統文化である大相撲の京丹後市開催を支援します。

○平成26年10月19日（日）　大宮社会体育館

大相撲地方巡業

未来へのまちづくりの振興

主な新規・拡充事業

小中一貫教育校が本格的にスタートします

新規 小中一貫教育校の導入
【教育費】209万円
（教育委員会事務局　学校教育課）

小中一貫教育導入研究校として指定した峰山中学校区と網野中学校区の両校区は、2年間の実践研究を踏まえ、平成26年度から施設分離型の小中一貫教育校としてスタートしました。

就学前から中学校卒業までの10年間を見据えた系統的かつ一貫性のある教育活動を進め、京丹後市小中一貫教育の先導的な役割を担います。

中学校教員が小学校で音楽の授業を実施

健康大長寿のさとづくりフォーラムを開催

拡充 健康大長寿のさとづくりフォーラム・生涯現役サミット
【衛生費】256万円
（健康長寿福祉部　長寿福祉課）

社会参加や生涯学習、自分のペースでの仕事など、市民誰もが生涯にわたって現役で活き活きと取り込むことができる「生涯現役社会」の実現に向けた取り組みの一つとして、健康大長寿のさとづくりフォーラム・生涯現役サミットを開催します。（平成26年11月上旬予定）

〈内容〉
○生涯現役・健康長寿をテーマにした講演、パネルディスカッション
○百寿者で健康長寿や生涯現役実践者による意見交換「生涯現役サミット」
○シニア世代で構成する市民サークルのステージ発表「元気アップいきいきステージ」
○「百寿者の長寿秘けつ集」完成披露

第6回健康大長寿のさとづくりフォーラムの様子

大学と連携して地域振興を図ります

拡充 「京丹後市夢まち創り大学」の創設・推進
【教育費】1,640万円
（企画総務部　企画政策課）

地域課題の解決に向けて地域連携のノウハウのある大学と連携して「京丹後市夢まち創り大学」を創設し、地域との協働により、大学生の地域活動の活性化と持続可能な地域づくりのシステムの構築を通じた地域振興を図ります。

京丹後市夢まち創り大学　開学宣言

京丹後市夢まち創り大学▶大学生・大学院生等の若者たちと地域の住民が協働して、地域課題の解決と地域振興を目的に活動する、域学一体的な連携事業のこと。

子どもたちの学びを支援します

新規 学習支援体制の整備
【教育費】249万円
（教育委員会事務局　学校教育課）

「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、子どもたちが学校内外で学ぶ機会を拡充するため、学習支援ボランティアなどの市民力を生かし、放課後・土曜日を活用した教育活動や情報メディアを使った学習支援など、学びを支援する機会や仕組みづくりを構築するための実証研究を行います。

土曜日の学習会の様子

「百寿者の長寿秘けつ集」を発行します

新規 「百寿者の長寿秘けつ集」発行
【衛生費】100万円
（健康長寿福祉部　長寿福祉課）

本市は、世界最長寿の故木村次郎右衛門さんをはじめ百寿者が多く住まわれる“健康長寿のまち”です。どうすれば百歳を越えても健康で元気に過ごせるのか、実際の百寿達人の生活習慣や健康法、処世訓などを市内外から公募し、模範となる実践事例をまとめた冊子を作成します。

〈内容〉
○実践に裏打ちされた百寿者の体験談、健康法、処世訓
○50・60代に参考になる生き方、養生法の紹介など
〈作成部数（予定）〉
4,000部（B5版）
※11月上旬に完成披露予定

平成25年度に発行した「京丹後」百寿人生のレシピ

生涯にわたる学びの機会を提供します

新規 高齢者大学院（仮称）の開催
【教育費】38万円
（教育委員会事務局　社会教育課）

高齢者大学院（仮称）は、大学の施設・設備を利用し、高齢者大学より専門的かつ高度な内容による学習機会を提供することによって、学習意欲の向上を図ることを目指し開設します。

市内の概ね60歳以上の方を対象とし、福知山成美大学へ通い大学の講義を実際に受講します。

講座は、年間で5回程度を予定しています。

高齢者大学の様子（網野学園）

多文化共生社会の実現に向けて

新規 「多文化共生推進プラン」の策定
【総務費】88万円
（企画総務部　企画政策課）

外国人住民と日本人住民が共生していくまちづくりを推進するため、住民アンケートによる意識調査や市民を対象とした講演会を実施するとともに、市民や市内各団体等で構成するプラン策定委員会を開催し「多文化共生推進プラン」の検討、策定を行います。

市内介護職員の能力向上を支援します

新規 「介護・福祉人材」の育成支援
【民生費】293万円
（健康長寿福祉部　長寿福祉課）

市内の介護施設等の職員を対象に「喀痰吸引等」が可能となる研修講座を開催して、介護施設等の介護・福祉人材の能力向上を図ります。

喀痰吸引実習の様子

喀痰（かくたん）吸引▶吸引装置を使用して痰の吸引を行うこと。痰を排出する体力がない場合などに実施。

私立保育所の保育環境充実支援

新規 私立保育所施設整備事業補助金
【民生費】5,080万円
（教育委員会事務局　子ども未来課）

社会福祉法人が運営する私立保育所のゆうかり子ども園（旧峰山保育所）とあみの夢保育園（旧網野保育所）の施設改修・修繕について、京都府の補助金を活用しながら補助金を交付し支援します。

ゆうかり子ども園（旧峰山保育所）

土地の位置と境界を確定します

拡充 地籍調査事業
【土木費】683万円
（建設部　管理課）

適正な土地の有効利用の推進と公共事業の効率的な実施を促進するため、地番や地目の調査並びに境界及び地積の測量を行い、位置や境界を明らかにしていきます。

安心・安全のまちづくりの促進

主な新規・拡充事業

相談・支援をワンストップで行っています

拡充 寄り添い支援総合サポートセンターでの支援
【民生費】3,957万円
（健康長寿福祉部　生活福祉課）

寄り添い支援総合サポートセンターでは、「『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センター」、「市民相談室」、「多重債務相談・支援室」、「消費生活センター」が一体的に、市民のさまざまな相談に対応し、誰一人置き去りにしないまちづくりを推進しています。

生活上の悩みから仕事に関しての困りごとまで幅広く相談を受け、各種制度やサービス、専門機関などの紹介・利用調整・同行、また、就労支援として、情報提供・助言・基礎的な就労訓練も行います。

寄り添い支援総合サポートセンター

寄り添い支援総合サポートセンター
☎0120-125-294、62-0032　月曜日～金曜日　9時00分～17時00分
（京丹後市峰山総合福祉センター駐車場横建物）

市民みんなで自殺ゼロのまちに

拡充 自殺予防の取り組み
【衛生費】303万円
（健康長寿福祉部　健康推進課）

市民一人ひとりが自殺予防の主役となり、自殺ゼロのまちづくりを推進しています。

悩みを抱える方が電話で相談できる「フリーアクセス（無料接続）」をはじめ、こころを元気にする講演会や「傾聴講座」を引き続き実施するとともに、一人ひとりが悩み、苦しんでいる人に気づき、見守るための主役となれるよう、『市民みんなでゲートキーパー推進計画』を進めます。また、臨床心理士を新たに採用し、「こころの健康相談」の体制を強化します。

傾聴講座の様子

無料相談窓口
◇「こころの電話相談」（京都府精神保健福祉総合センター）
☎0120-689-874　月曜日～金曜日（9時～12時・13時～16時）
◇社会福祉法人「京都いのちの電話」
☎0120-689-107（365日・24時間）

校舎の耐震補強工事を行います

拡充 小・中学校施設の耐震補強等
【教育費】6億340万円
（教育委員会事務局　教育総務課）

京丹後市立学校施設耐震化計画に基づき、峰山小、吉原小、丹波小、間人小及び峰山中校舎の耐震補強工事を行うとともに、峰山中学校では普通教室等に空調設備を整備します。また、全ての学校について、非構造部材の耐震性能調査を実施します。

耐震補強工事とともに空調設備を整備する峰山中学校校舎

非構造部材▶構造設計の主な対象となる構造体（コンクリート造、鉄骨造等の骨組み）ではなく、天井材、外壁、照明器具、窓ガラス、書棚など構造体と区分した部材。

安心・安全な学校給食を提供します

新規 網野給食センターの空調整備
【教育費】7,260万円
（教育委員会事務局　教育総務課）

網野町域の幼稚園、小・中学校の給食調理を行っている網野学校給食センターについて、調理環境を改善し、より安心で安全な学校給食を提供するため、厨房に空調設備を整備します。

網野学校給食センター

クリエイトショップ「くりくり」の運営を支援します

拡充 障害者施設製品販売支援事業補助金
【民生費】665万円
（健康長寿福祉部　障害者福祉課）

市内大型ショッピングセンターに出店しているクリエイトショップ「くりくり」（障害者施設製品販売所）の運営費の一部を支援し、障害者施設製品の販売促進、障害のある方の就労意欲向上・社会参加のほか、多くの市民で支え合う仕組みづくりを目指します。

クリエイトショップ「くりくり」

新火葬場の建設工事を進めています

拡充 新火葬場の建設
【衛生費】8億6,577万円
（市民部　市民課）

平成27年4月の供用開始に向け、新火葬場建設を進めています。

平成26年度は、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事を実施するほか、火葬炉設備工事、舗装・排水工事、植栽工事、待合用の備品購入を行うなど、施設の完成を目指します。

新火葬場の完成イメージ

公的病院等の運営を支援します

新規 公的病院等運営事業補助金
【衛生費】2,600万円
（医療部　医療政策課）

市民の方が安心して生活できる医療提供体制を確保するため、その機能を担う公的病院等が実施する事業に対し必要な経費の一部について補助を行います。

丹後町域において新たに市営バスを運行します

新規 新たな市営バスの運行
【総務費】617万円
（企画総務部　企画政策課）

丹後町の豊栄・竹野地域、宇川地域において、新たに2路線で市営バスのデマンド運行を隔日で行い、高齢者など交通弱者の移動手段を確保するとともに、交通空白（不便）地域の解消を図ります。

久美浜町域で運行している市営バス（佐濃北線）

デマンド運行▶定められた時刻に定められた区間の運行を行うのではなく、利用者の要求があった場合に必要な運行を行うもの。

LED防犯灯で明るいまちづくりを推進します

拡充 LED防犯灯設置費補助金
【総務費】459万円
（市民部　市民協働課）

夜間の犯罪防止及び通行の安全確保とともに、環境にやさしいまちづくりの推進と地域住民の負担軽減を図るため、LED防犯灯を設置する集落等に対し補助金を交付します。

○1灯あたりの補助限度額
　電柱等への共架：3万円
　鋼管柱設置　　：9万円

消費電力が少ないLED型防犯灯

迅速で確実な災害出動のために

新規 高機能消防指令システムの更新事業
【消防費】4億1,600万円
（消防本部　総務課）

365日24時間体制で市民等からの火災、救急及び救助等への緊急通報を受けて、必要な消防隊や消防団を出動させる119番通信指令システムが老朽化していることから、最新の高機能消防指令システムへ更新します。

現在の通信指令室

市内全ての119番通報は、峰山消防署の通信指令室で一括受信し、必要な署所と消防団に出動指令を行っています。

平成26年度の主なゼロ予算事業

※職員等の「知恵」を活かした取り組みにより、経費をかけずに事務事業を行うもの

「生涯現役社会推進条例（仮称）」の検討と成案作成

「百歳長寿のまち」の特長を活かし、あらゆる世代の市民が仕事や社会参加、生涯学習等をとおして生涯にわたり「現役生活」を実践し、心身ともに健康な人生を過ごすことができる地域づくりを進めるため、「生涯現役社会推進条例（仮称）」の検討と成案作成を行います。

「住民総幸福まちづくり条例（仮称）」の検討と成案作成

「市民総幸福の最大化」を目指したまちづくりに向け、誰ひとり置き去りにされず、誰もが幸福をますます実感できる住民総幸福のまちづくりに向け、共助、公助等の基本的で共通的なことがらを高める条例化の検討と成案作成を行います。

京丹後市商工業振興融資制度の拡充（融資限度額の大幅引き上げ等）

京丹後市商工業振興融資制度を改正し、融資限度額を1,000万円から2,000万円に倍増させるとともに、制度内で資金追加しての借り換えを実質的に可能とすることにより、市内事業者が事業資金を借り入れる際の制度選択の幅を広げ、低利（2.0%）での資金調達の円滑化を図ります。

「京丹後市新経済戦略プロジェクト」ホームページの開設

京丹後市新経済戦略プロジェクトにより行う商工業振興のための様々な取り組み等について掲載する専用ホームページを立ち上げ、市ホームページとも連携しながら市内外に向けて情報発信します。

〈ホームページアドレス〉
http://kyotango-es.jimdo.com/

【市制10周年記念事業】起業アイデアコンペティション全入賞アイデア再発信・事業化促進事業

大学生による起業アイデアコンペティションにおけるこれまでの入賞アイデアをまとめた冊子を作成・配付するとともに、関連イベントにおいて入賞アイデアのパネル展示を行うなど、その発信を強化することにより事業化を促進します。

平成25年度アイデアコンペの様子

峰山途中ヶ丘公園駐車場増設に向けた検討

峰山途中ヶ丘公園は、毎年多くの陸上競技会及びスポーツ行事が開催され、たくさんの方に利用いただいていますが、現在の駐車台数では大規模な大会時に不足している状況にあるため、利用者の利便性の向上及び利用者の増加を図るため、駐車場の増設に向けた検討を行います。

峰山途中ヶ丘公園

公共下水道使用料の減額制度（下水道事業関連）

公共下水道の供用開始区域内の住宅または事業所で、平成24年7月1日から3年以内に、既設の浄化槽を廃止して新たに公共下水道に接続し使用を開始した場合、下水道使用料のうち超過料金の全額、また、営業用温泉排水の場合はその額の全額を1年間減額します。なお、平成24年7月1日以降に供用開始となった区域は供用開始の日から3年以内に接続した場合を対象とします。

健全な行財政基盤づくり

主な取り組み

今年度で合併から11年目を迎え、普通交付税の合併算定替の全額交付を受けることができる期間の最終年となりました。普通交付税の合併算定替については、平成27年度から平成31年度までの5年間で段階的に削減され、平成32年度からは合併算定替の適用がなくなり、京丹後市本来の交付額となります。（平成32年度の普通交付税は、平成25年度の普通交付税を平成26年度に置き換えて試算した場合、約32.6億円の減少が見込まれます。）

そうした中、面積が拡大し、多くの支所を抱えているなど合併市町村特有の事情等を考慮し、平成26年度から段階的に見直されることとなりました。

算定の見直しにより減額は緩和される見込みですが、平成27年度からの減少自体は始まるため、合併算定替などの合併特例措置が適用されているうちから歳出の抑制を図り、後年度に充当・活用できる基金を積み立てることで、普通交付税の削減期間を実質的に延長し、「歳入の削減に伴う歳出の急激な減少の緩和」を図ります。

〈合併特例措置〉

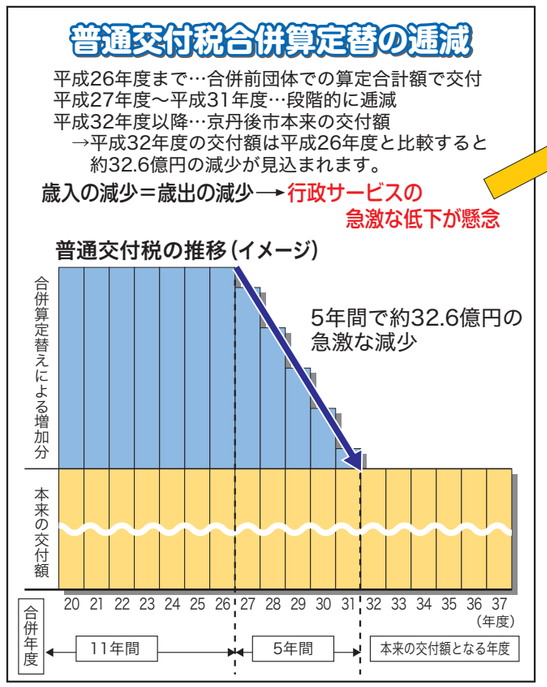
普通交付税の合併算定替

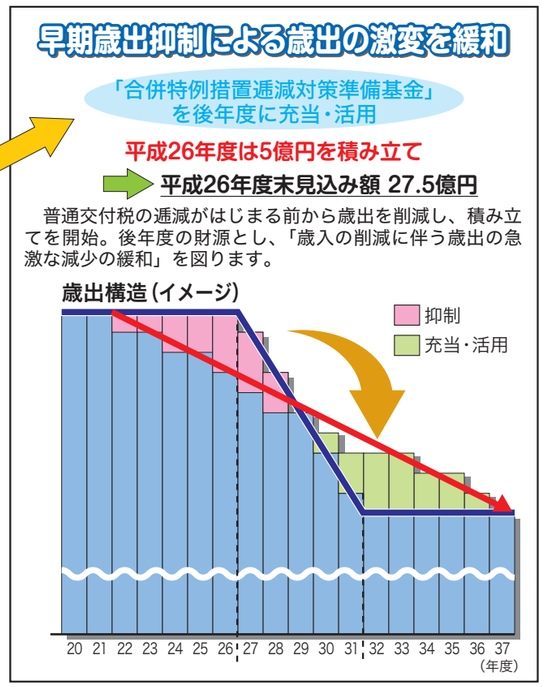
合併後の一定期間に限り、合併前と後の団体で算定した普通交付税の額を比較し、多い方が交付される特例措置です。本市の場合は、平成16年度から平成26年度までの間は、合併算定替額の全額が交付され、平成27年度から平成31年度の5年間で段階的に逓減。平成32年度からは、京丹後市本来の交付額となります。

合併特例事業債

合併団体のみが発行できる地方債。本市の場合は、平成26年度までの発行とされていましたが、国の法律改正により平成31年度まで、その発行期限が延長されました。

対象事業費のおおむね95%の市債を借り入れることができ、その元利償還金の70%が後年度の普通交付税に算入されます。





※普通交付税は、毎年度変動します。

平成26年度の主な仕事をご紹介します

Ⅰ 産業の発展と雇用の促進

移住者の受け入れや空き家改修等を支援します

■地域の移住促進・空き家改修の支援
【総務費】840万円
（企画総務部　企画政策課）

人口の減少及び空き家の増加が進む中、京都府の「明日のむら人移住促進事業」を活用し、地域における移住者の受入体制整備や空き家の活用を図るため、地域団体等が行う移住者の受入組織づくりや空き家改修等を支援します。

○移住者受入体制強化事業
　地域内の話し合い等によりまとめた「移住促進計画」の作成や移住者受入活動に要する経費を補助
・補助率：10分の10以内（上限50万円）
・補助対象者：地域の団体等

○移住促進住宅整備事業
　「移住促進計画」に基づき、地域の団体等又は移住者が行う空き家改修経費を補助
・補助率：10分の10以内（上限180万円）
・補助対象者：地域の団体等、移住者

○空き家流動化対策事業
　「移住促進計画」に基づき、空き家を移住者に売却又は賃貸する際の家財撤去等の経費を補助
・補助率：10分の10以内（上限10万円）
・補助対象者：地域の団体等

改修前

改修後

人材育成を促進します

■中小企業緊急雇用安定助成金
【労働費】420万円
（商工観光部　商工振興課）

国の「雇用調整助成金制度」を活用して雇用者を一時休業させ教育訓練を行った中小企業者に対し、手当、賃金などの一部を助成することにより、雇用者の就業維持を目指すとともに、人材育成を促進します。

教育訓練の様子

雇用調整助成金制度▶経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向させた場合に、その手当、賃金等の一部を国が助成する制度

宇治茶の産地を目指します

■宇治茶産地確立支援事業
【農林水産業費】（新規）112万円
（農林水産環境部　農政課）

宇治茶の産地として品質及び収量の向上が図れる有効な施肥設計を実証するため、丹後国営開発農地で栽培している茶園の一部を指定し、土壌改良や樹勢回復の調査・分析を行う実証ほ場の生産者に対して増加した施肥費用の2分の1を補助します。

茶園の肥料散布

施肥設計▶年間の施肥時期や肥料の種類、施肥量などについて、推奨例を定めたもの

農村地域の再生を支援します

■里の人づくり事業
【農林水産業費】750万円
（農林水産環境部　農政課）

過疎化・高齢化の進んだ複数集落、里力再生推進員、住民団体等で構成する「地域連携組織」の活動を支援し、農村地域の再生を図ります。

〈現在活動している連携組織〉
○大宮町
　大宮南地域里力再生協議会（5集落）
　三重・森本里力再生協議会（2集落）
○久美浜町
　佐濃地区活性化協議会（17集落）
　久美浜二区地域里力再生協議会（8集落）
　海部地区活性化協議会（11集落）

佐濃地区「若者交流事業」の様子

里力再生推進員▶集落間の各種調整や会議開催時の資料作成など事業を円滑に実施するための事務員

良食味米作りを支援します

■日本一の特A米産地づくり推進事業
【農林水産業費】100万円
（農林水産環境部　農政課）

日本一の特Ａ米産地の確立を目指し、集落営農組織等が行う良食味米づくりのための先進的な取り組みを支援します。（平成28年度まで）
○補助率：3分の2以内
○補助限度額：50万円
○事業費：2万円以上

葉緑素計による葉色の診断

平成25年度の食味ランキングでは、平成23年度から3年連続で丹後産コシヒカリが最上級の「特A」ランクを獲得しました。（通算11回目）

農村地域の特色ある取組を支援します

■里の地域活力再生事業
【農林水産業費】（新規）672万円
（農林水産環境部　農政課）

弥栄町野間地域が策定した「里力再生計画」に基づき、みそ、こんにゃく、鮎めしなどの加工品づくりを行う製造施設の整備に対し支援します。

地域の魅力が詰まった農産物等の加工品

里力再生計画▶過疎化・高齢化集落を含む複数集落が連携して策定する、10年間の地域振興計画

ほ場整備を行います

■農業競争力強化基盤整備事業負担金
【農林水産業費】（新規）1,033万円
（農林水産環境部　農林整備課）

久美浜町女布地区のほ場の大区画化と揚水機、用水路等の改修を実施し、営農労力の節減を図り、収益性の高い農業経営の実現を図ります。
事業期間：平成26年度～平成31年度

区画整理前のほ場

■宇川地区農業用施設改修事業
【農林水産業費】（新規）7,796万円
（農林水産環境部　農林整備課）

丹後町宇川地区の尾和用水路は、設置後約50年が経過し老朽化が著しいことから、今年度は施設の改修に向けた測量設計等を実施し、次年度以降に用水路及び取水施設等の改修を行い、農地の保全を図ります。
事業期間：平成26年度～平成31年度

尾和用水路

■海業の推進事業
【農林水産業費】（拡充）139万円
（農林水産環境部　海業水産課）

京丹後市の豊かな海と豊富な海洋資源を活用し、漁村地域の活性化を図るため、漁業関係者、流通業者及び観光業者と連携するとともに、6次産業化や魚食の普及活動などに取り組む漁業者等の団体を支援します。

小学生に魚のさばき方を教える魚食普及活動の様子

経営の安定を支援します

■あんしん借換資金等利子補給
【商工費】6,200万円
（商工観光部　商工振興課）

市内の事業者が、事業運営に必要な運転資金や設備資金を借り入れ、その返済にあたり負担した利子を対象に補給金を交付します。

○対象融資
・京都府中小企業制度融資
・京丹後市商工業振興融資
・政府系金融機関による商工融資

○補給率
・借入利率のうち、1.7％を超えた分（ただし、最大で4.2％までの2.5％分）

○補給限度額
・1事業者につき1年度100万円

■信用保証料補助金
【商工費】（拡充）4,500万円
（商工観光部　商工振興課）

市内の中小企業者が、事業経営に必要な運転資金や設備資金を借り入れる際に負担した信用保証協会への信用保証料を対象に補助金を交付します。平成26年度は、500万円から1,000万円までの借り入れに対し、補助率を引き上げ（5%）ました。

○補助率
　保証料の30%～80%（借入保証額により異なります。）
○補助限度額
　1企業につき1年度40万円

商工業の新たな取り組みを支援します

■商工業支援補助金
【商工費】（拡充）1,256万円
（商工観光部　商工振興課）

市民が行う創業、空き店舗や空き工場等の活用、新商品開発、販路開拓、知的財産権取得などの新たな取り組みを支援し、地域経済の活性化を図ります。

【対象事業】
○新商品・新製品開発
○ジオパーク関連商品開発
○創業
○空き店舗・空き工場等活用
○国内外販路開拓
○知的財産権取得
○事業拡大等人材育成
○事業転換

織物事業者の設備更新を支援します

■織物合理化設備導入支援補助金
【商工費】400万円
（商工観光部　商工振興課）

織物事業者の経営の合理化及び安定化を図るため、織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置等の導入に対し、経費の一部を助成します。

○補助率：補助対象経費の3分の1以内
○補助限度額：1台につき10万円
○補助期間：平成26年度限り

織物事業者の経営を支援

織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置▶帯などの紋織物を織るジャカード織機の紋紙データを再生する装置

丹後織物の新しい可能性にチャレンジします

■丹後ファッションウィーク開催委員会補助金
【商工費】400万円
（商工観光部　商工振興課）

織物関連団体、丹後2市2町などで組織する「丹後ファッションウィーク開催委員会」が、丹後織物の認知度向上及び丹後産地の競争力の強化などを目的に実施する事業に対し支援を行い、織物関連産業の活性化を推進します。

【平成26年度事業の概要】
○販路開拓事業…首都圏における丹後産地展の開催
○海外販路開拓事業…セミナー開催等
○産官学連携事業…関西のファッション関連校4校と連携した丹後織物の作品制作及びプロモーション活動
○丹後織物製品開発・販売促進事業…東京の女子美術大学と連携した丹後織物の製品開発及びプロモーション活動
○2020年ターゲットイヤー（丹後ちりめん創業300周年）に向けた取組の検討

女子美術大学による
「東京インターナショナル・ギフトショー」出展

産学連携による技術・経営革新を支援します

■織物合理化設備導入支援補助金
【商工費】200万円
（商工観光部　商工振興課）

市内商工業者等とさまざまな技術を保有する大学等研究機関との共同研究等に対し支援を行うことにより、産学連携を促進し、企業の事業成長及び新分野への進出並びに新産業の創出を図ります。

○補助率
　補助対象経費の2分の1以内
○交付限度額
　1事業者につき100万円

京丹後の経済成長を考え、行動します

■京丹後経済成長戦略新懇話会
【商工費】200万円
（商工観光部　商工振興課）

平成25年に制定・策定した市商工業総合振興条例、新経済戦略を踏まえ、関係者、市民などがそれぞれの役割や取組のあり方等を考え、行動する機会とするため、政府、経済界などから講師を招いた「京丹後経済成長戦略新懇話会」を定期的に開催します。

京丹後経済成長戦略新懇話会

「テレワーク」を推進します

■京丹後型ワークスタイルの創出推進
【商工費】（新規）39万円
（商工観光部　商工振興課）

豊かな自然環境など本市の恵まれた住環境と、充足した通信インフラ環境等を活用した「テレワーク」を推進し新たな事業活動の展開を図るため、その導入として、市内事業者、創業希望者等を対象とした「テレワーク」に関するセミナーを開催します。

テレワーク▶情報通信手段を活用し、場所や時間にとらわれずに働く労働形態。女性や高齢者、障害者などの就業機会の拡大、通勤混雑の緩和、企業のコスト削減などメリットも多く、普及が期待されている。

京丹後ブランドの魅力を発信します

■地域ブランドの推進
【商工費】99万円
（商工観光部　商工振興課）

平成24年11月に設立した全国20自治体から成る「地域ブランド連携協議会」の活動への参画等により、地域ブランドのプロモーションイベント開催や物産展への出展、都市部での情報発信等を行い、京丹後ブランドの価値とイメージの向上を目指します。

昨年の地域ブランドプロモーションイベント
「地域ブランドサミット」の様子（愛媛県八幡浜市）

プレミアム付き商品券の発行を支援

■プレミアム商品券発行事業補助金
【商工費】（拡充）48万円
（商工観光部　商工振興課）

市内での買い物消費の喚起を図るため、京丹後市商工会が行うプレミアム付き商品券発行のプレミアム分（10%の特典）の一部を支援します。

○商品券発行総額：1,423万円
○発行時期：平成26年秋ごろ予定

Ⅱ 京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

農家・漁家民宿の拡充を推進します

■農家・漁家民泊の振興
【農林水産業費】（新規）75万円
（農林水産環境部　農政課）

豊かな自然や地域の農林水産物を活用したグリーンツーリズム・ブルーツーリズムを推進するため、農家民宿・漁家民宿を活用した体験ツアーなどを行うとともに、市内の農家民宿等許可軒数の拡大を目指した開業セミナーを実施します。

農家民宿での団らんの様子

グリーンツーリズム▶都市住民が農家などに滞在して農作業を体験したり、地域の歴史や自然に親しむ余暇活動
ブルーツーリズム▶都市住民が島や沿海部の漁村に滞在して、海辺での生活を体験する余暇活動

観光プラットフォームの形成を支援

■京丹後市観光協会の運営支援
【商工費】（拡充）3,333万円
（商工観光部　観光振興課）

第2次京丹後市観光振興計画に掲げた観光プラットフォームの中心として、観光客誘致、各種メディアや旅行業者への情報提供、観光案内のワンストップ窓口としての情報発信、ジオツーリズム、インバウンド等、観光推進活動に取り組む観光協会を支援します。

台湾からの旅行視察団受け入れの様子

観光プラットフォーム▶着地型旅行商品の造成や販売を行うため、地域内の着地型旅行商品の提供者と市場（旅行会社、旅行者）をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体
着地型旅行商品▶旅行先の地域が主体となり、各種体験や地元産品等当該地域ならではの観光資源を活用して造成された旅行商品

休憩施設の調査を行います

■観光・休憩所適地調査
【商工費】（新規）320万円
（商工観光部　観光振興課）

平成26年度に京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道が全線開通し、また平成28年度には本市初となる大宮森本ICが開設されるなど、交通インフラが飛躍的に向上します。本市への流入車両が増加し、人・モノの交流や経済の活性化が期待される中、来訪者の滞在をより快適なものとするため、休憩施設設置に適した場所などについて調査を行います。

映画を活用した観光まちづくりを推進します

■フィルムウィークの開催
【商工費】（拡充）99万円
（商工観光部　観光振興課）

京都国際学生映画祭等と連携し、お寺や古民家等の田舎ならではのロケーションで期間限定シアターをオープンする「京丹後まるごとシアター」（仮称）や映像制作に関するワークショップ等を開催し、映画に親しむ機会を創出することで市内を周遊する観光のきっかけづくりを行います。

京丹後フィルムウィーク2013の様子

フィルムウィーク▶お寺や古民家など京丹後市ならではの会場を映画館に見立て映画を上映する京丹後市発の観光イベント

スポーツによる健康で活力のあるまちづくり

■京たんごスポーツの発行
【商工費】589万円
（商工観光部　スポーツ観光・交流課）

「人のチカラ・スポーツのチカラでまちづくり」を基本理念に掲げ、スポーツの分野で頑張っている子どもたちをはじめ、市民や本市出身者といった「人」に焦点を当てたスポーツ広報紙「京たんごスポーツ」を隔月で発行（6回）し、スポーツのまちづくりを推進します。

京たんごスポーツ

「海フェスタ京都」を通じて京丹後市を発信

■「海フェスタ京都実行委員会」負担金
【商工費】（新規）100万円
（商工観光部　観光振興課）

平成26年7月19日から8月3日まで、舞鶴市を中心とした「海フェスタ京都」が開催されます。

京丹後市では、ジオパークをキーワードに「海の京都」京丹後市を全国に発信するため、国の関係機関と京都府、5市2町等によって構成される海フェスタ京都実行委員会への負担金を支出するなど開催を支援します。

海フェスタ京都シンボルマーク

海フェスタ▶「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の意義を再認識するための行事として、昭和61年から毎年全国の主な港湾都市で開催しています。

市制10周年記念国際親善プレ大会

■第14回　2014歴史街道
丹後100㎞ウルトラマラソン大会の開催支援
【商工費】500万円
（商工観光部　スポーツ観光・交流課）

歴史街道丹後100㎞ウルトラマラソン（国際親善プレ大会）の開催を支援し、四季型・滞在型観光を推進します。

○開催日時（予定）
平成26年9月13日(土)
～14日(日)

ウルトラマラソン100㎞のスタートの様子

■スポーツボランティア活動の推進
【商工費】（新規）88万円
（商工観光部　スポーツ観光・交流課）

スポーツボランティアを登録する仕組みをつくるとともに、研修を行うことにより、市民全体でスポーツを支える担い手づくりとスポーツへの愛着を高めることを目指します。

ウルトラマラソンでのボランティア活動の様子

「山陰海岸ジオパーク」を観光推進に生かします

■「山陰海岸ジオパーク」を活かした観光の推進
【商工費】2,099万円
（商工観光部　観光振興課）

「山陰海岸ジオパーク」を観光推進に生かすため、宝探しやジオトレッキングなどのイベント・ガイド講座等の開催、教育・学習活動の支援、拠点・サイン整備を推進するとともに、本年実施される世界ジオパークの再審査や平成27年のアジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムの開催に向け、京丹後市内外のジオパーク関係機関との連携を深めます。

立岩（丹後町）

■丹後半島ラリー2014の開催支援
【商工費】118万円
（商工観光部　スポーツ観光・交流課）

本市内で行われる全日本ラリー選手権の開催を支援することにより、全国へ本市をＰＲするとともに、観光客誘致を図ります。

○開催日時（予定）
平成26年8月29日（金）～31日（日）

丹後半島ラリースイス村ギャラリーステージの様子

■温泉施設への木材チップボイラー導入
【商工費】（新規）2億4,074万円
（農林水産環境部　農林整備課）

未利用間伐材及び利用価値が低く放置されている天然林を資源として活用する木材流通・加工施設の整備に合わせ、積極的な市内産木材の利用を図り、市内森林整備を促進するため、公共温泉施設の「弥栄あしぎぬ温泉」及び「宇川温泉よし野の里」に木質チップボイラーを導入します。

弥栄あしぎぬ温泉

宇川温泉 よし野の里

京丹後市の応援の輪を全国に広げます

■京丹後ふるさと応援団の運営
【総務費】129万円
（企画総務部　企画政策課）

京丹後市の魅力を全国に発信し、交流人口の増加と本市への移住の促進を図るため、「京丹後ふるさと応援団」を組織し、地域の発展に向けた応援活動をしていただける人々の輪を全国に広げています。また、団員の中から「京丹後ふるさと応援大使」を委嘱し、本市をPRする特製名刺を配付するなど全国各地で京丹後市の魅力発信を行っていただくほか、団員同士の連携・交流を深めるため、「団員交流会」を開催します。

○入団資格　京丹後市以外に在住のかた
○入 団 費　年1,000円
○特　　典　会報誌などの送付、市内協賛店での優待特典など
○団 員 数　307人（平成26年3月末現在）

平成26年2月に開催した「ふるさと応援団交流会」

再生可能エネルギーを活用したまちづくり

■再生可能エネルギー利活用まちづくり調査
【衛生費】（新規）60万円
（農林水産環境部　環境バイオマス推進課）

地域にある再生可能エネルギーを活用したまちづくりを進めるため、公募によって選定した地区等を対象に、当該地域におけるエネルギーの賦存状況、活用事業の課題並びに実効可能性を調査・検証し、地域のニーズに即した再生可能エネルギーの利活用方策をまとめます。

再生可能エネルギーをまちづくりに活用する先進事例
「道の駅ウッディー京北」（京都市右京区）

賦存▶天然資源について、理論的に算出された量が存在すること

美しい海岸を守るための取り組みを進めます

■「スポーツGOMI拾い」大会の開催
【衛生費】（新規）40万円
（市民部　市民課）

「スポーツGOMI拾い」とは、企業や団体が取り組む従来のごみ拾いに、「スポーツ」の要素を加えたもので、あらかじめ定められたエリアで、制限時間内に、チームでごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競います。

海岸ごみの発生抑制のための意識啓発イベントとして、夏頃に浜辺で開催します。

昨年の京丹後市ビーチー斉クリーン作戦の様子
（久美浜町箱石）

下水汚泥等の資源化方法を検討します

■地域バイオマス資源の活用推進
【衛生費】（新規）29万円
（農林水産環境部　環境バイオマス推進課）

資源循環型社会の形成を目指し、利用可能な地域バイオマス資源でもある下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥の資源活用を検討します。

現在、市内で発生する下水汚泥等は竹野川衛生センターや網野衛生センターで焼却処理し、埋立処分していますが、水洗化の普及により、下水から発生する汚泥は増加する見込みとなっています。

下水汚泥等は、リサイクルして建設資材や燃料などに活用されている事例もあり、これまでのように焼却処理・埋立処分するだけでなく、資源としての活用について基礎的な調査・検討を行います。

使用済み小型家電の再資源化を進めています

■小型廃家電のリサイクル
【衛生費】（新規）14万円
（市民部　市民課）

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）に基づき、これまで埋め立てなどにより処理されていた小型家電品を、各市民局や地域公民館などに回収ボックスを設置して回収し、再資源化を行います。

峰山庁舎の回収ボックス

■（仮称）「大丹後展」の実施準備
【教育費】（新規）212万円
（教育委員会事務局　文化財保護課）

平成26年度末の京都縦貫自動車道の全線開通にあわせ、丹後の歴史・文化を広く周知するため（仮称）「大丹後展」開催に向けた準備を行います。（京都文化博物館：平成27年秋予定）

丹後王国時期の銅鏡、水晶玉などの重要文化財、丹後の伝説にかかわる仏像、絵画や丹後ちりめんの資料などを展示し、京阪神地域の方に丹後の歴史や文化を知ってもらい、都市部からの観光客の増加を目指します。

大田南2号墳銅鏡の出土状況
（弥栄町和田野）

■京丹後市史の編さん
【教育費】1,203万円
（教育委員会事務局　文化財保護課）

京丹後市の歴史と自然を写真や図版を用いてわかりやすく解説する本文編（全2冊）と、本市に関係する文化財を紹介する資料編（全12冊）等からなる「京丹後市史」を作成します。

本願寺本堂（久美浜町十楽）
※国指定重要文化財

平成26年度は、事業の最終年で、本文編『京丹後市の自然環境』と資料編『京丹後市の古地図』『京丹後市のまちなみ・建築』を発刊します。

更なる飛躍・発展に向け市制10周年記念式典を開催

■市制10周年記念式典の開催
【総務費】（新規）188万円
（秘書広報広聴課）

市制10周年を迎え、本市が歩んできた10年間を市民とともに振り返り、さらなる飛躍・発展に向けた契機の一つとするための記念式典を開催します。

○開催時期（予定）
平成26年11月上旬　京都府丹後文化会館

市制5周年記念式典の様子

■花いっぱい運動の推進
【総務費】（拡充）438万円
（企画総務部　企画政策課）

本市の豊かな自然環境を活かしたまちづくりを進めるため、市民とともに花いっぱい運動を推進し、観光振興や地域の活性化等に繋げていきます。

竹野川沿いの国道への植樹や公共施設（道路等）への植栽などを行う団体への支援、駅・観光地間の道路へのプランターの設置、イベント等での花の種の配布など、花いっぱい運動を推進します。

観光協会等のボランティアによる植栽の様子
（丹後大宮駅）

KTR駅舎のトイレを改修します

■駅トイレ改修の実施設計
【総務費】（新規）554万円
（企画総務部　企画政策課）

改修予定の峰山駅西口のトイレ

峰山駅、網野駅、木津温泉駅のトイレについて、利用者が快適に利用していただけるトイレに改修するため、改修工事の設計を行います。

公共施設で「Wi-Fi」が利用できます

■「Wi-Fi」利用環境の提供
【総務費】（新規）116万円
（企画総務部　情報政策課）

駅、道の駅、温泉施設などの公共施設20か所に、無料で利用できる「Wi-Fiスポット」を開設します。観光客や施設利用の方々が、手持ちのスマートフォンやタブレット端末などから、快適にインターネットをご利用いただけるようになります。

Wi-Fiスポット利用イメージ

Wi-Fiスポット▶公共施設や店舗などで、無線LAN対応のスマートフォン、タブレット端末、ノートパソコンなどを使ってインターネットへ接続し、ウェブの閲覧や動画視聴ができる設備がある場所のこと

公共施設での再生可能エネルギー事業

■再生可能エネルギー利用可能施設検証
【衛生費】（新規）50万円
（農林水産環境部　環境バイオマス推進課）

市有施設活用型太陽光発電普及促進事業（公共施設屋根貸事業）の実施に合わせ、設備設置候補施設の構造、耐震及び耐久性、設置シミュレーション、整理条件等を調査し、施設利用の可能性について検証を行います。

市役所峰山庁舎屋上の太陽光パネル

市有施設活用型太陽光発電普及促進事業▶市民・事業者の方が主体となり、市有施設を活用して再生可能エネルギー事業を実施する施策

■市制10周年記念事業
秋季特別展示「丹後 VS 但馬」の開催
【教育費】（新規）112万円
（教育委員会事務局　文化財保護課）

丹後（京都府北部）と但馬（兵庫県北部）は、土器の様式や墳墓の形態等に共通点を持ち、古代より歴史的・文化的なつながりが深い地域です。

平成26年度市制10周年記念事業として、丹後古代の里資料館において秋季特別展示「丹後 VS 但馬」を開催します。

弥生時代から平安時代までの出土したガラス玉、古墳に副葬された銅鏡や埴輪、古代寺院の瓦などの比較展示、古代における丹後と但馬の歴史的・地域的な特徴を明らかにした展示を行います。

左坂墳墓群出土のガラス

全国から約200名の大学生が京丹後市に集結

■全国公共政策フォーラムの開催
【総務費】（新規）32万円
（企画総務部　企画政策課）

本市を会場に約20チーム200名の大学生が集い、地域課題をテーマに政策提案を行う全国大会の開催（主催：公共政策フォーラム2014 in 京丹後実行委員会）について、日本公共政策学会とともに支援します。

○日時：平成26年10月25日～26日（予定）

平成25年開催の様子（埼玉県川越市）

Ⅲ 未来へのまちづくりの振興

■食育の推進
【衛生費】（新規）76万円
（健康長寿福祉部　健康推進課）

平成25年度に「京丹後の恵みに感謝！笑顔あふれる市民の食卓づくりをめざします」を基本理念とする『京丹後食育推進基本方針』を策定しました。

その方針に基づき、イベントや市ケーブルテレビ（長寿食レシピを利用した料理番組制作）の活用などにより、食育や地産地消への市民の理解を高め、生涯を通じた食育の実践につながる取り組みを推進します。

まるごと京丹後食育の日の様子

楽しく歩いて健康づくり！

■健康“楽歩里”事業化検討調査
【衛生費】（新規）12万円
（健康長寿福祉部　健康推進課）

12コースを掲載した「京丹後市健康ウォーキングマップ」

健康づくりの3要素である「栄養・運動・休養」のうち、市民のみなさんが「運動＝歩く健康づくり」に取り組み、健康寿命を延伸するために、健康ポイント制度を取り入れた「歩く健康づくり」についての検討・調査を行います。

楽歩里（がっぽり）▶①地元（里）の景観を楽しみながら歩いてほしい。 ②歩くことにより得られるポイントを「がっぽり」と貯めていただき、まちづくりなどに還元してほしい。 という2つの意味があります。

市民の健康づくりを進めます

■「健康づくり推進員」の活動支援
【衛生費】116万円
（健康長寿福祉部　健康推進課）

市民の「自らの健康は自ら守る」意識を高め、地域での積極的な健康づくり活動の推進役として、健康教室をはじめ、各種イベントにおいて検診受診の啓発キャンペーンに取り組んでいます。

今年度は、ウォーキングマップを活用した事業などを実施します。

○健康づくり推進員
223人（平成26年2月末）

地区健康教室の様子

■老人クラブ活性化支援補助金
【民生費】929万円
（健康長寿福祉部　長寿福祉課）

老人クラブは、地域支え合い事業、健康づくり事業、会員加入促進事業など、幅広い活動を展開しています。老人クラブ活動を活性化することにより、地域で安心して活き活きと暮らすことができる健康長寿のまちづくり実現のため補助金を交付します。

〈平成26年3月末現在〉
○老人クラブ数：106
○会員数：2,785人

清掃奉仕活動の様子

■（仮称）弥栄統合保育所・幼稚園整備
【民生費】（拡充）8億2,905万円
（教育委員会事務局　子ども未来課）

保育所再編等推進計画に基づき、平成27年4月開所を目指し、和田野、鳥取、黒部、溝谷、吉野の5保育所を統合し、合わせて幼稚園並びに子育て支援センターを一体的に整備します。

建設用地については、地元の意見を聞きながら鳥取小学校横の市有地としており、木造瓦葺平屋建ての建物に、ソーラーパネルを設置します。

完成イメージ

■教育支援センターの運営
【教育費】891万円
（教育委員会事務局　学校教育課）

教育支援センター「麦わら」では、心理的要因などにより不登校となっている、またはその傾向にある児童生徒に対し、在籍校との連携のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善を、個々の状態に応じて段階的に支援します。あわせて、児童生徒だけでなく、保護者や教職員に対する教育相談業務も行っています。

また、カウンセリングの専門的知識を有する臨床心理士が、アドバイスや助言を与える教育相談を月2回実施しています。

○開設場所　峰山織物センター内
○電話番号　69-0625
○開 設 日　月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
○開設時間　8時30分～16時30分（児童生徒の利用時間9時～14時）

京丹後市教育支援センター

■小中一貫教育の推進
【教育費】191万円
（教育委員会事務局　学校教育課）

平成24年11月に策定した「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、小中一貫教育研究推進協議会や学校教育連携専門部会で協議・調査研究し、小中一貫教育の推進状況の検証や課題の整理、改善方法の検討などを進めます。

また、「小中一貫教育推進基本計画」や「小中一貫教育モデルカリキュラム」を作成するほか、峰山・網野以外の4中学校区を導入準備校に指定し、平成28年度を目途に全ての中学校区で小中一貫教育を目指します。

合同であいさつ運動をする小中学生

地域に開かれた学校づくり

■学校支援地域本部の運営
【教育費】515万円
（教育委員会事務局　社会教育課）

学校支援地域本部は、さまざまな特技や技能をもった地域の方に、学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の求めに応じて登録しているボランティアを派遣し、学校で学習支援やクラブ活動支援などの活動を行います。

現在は、427人がボランティアとして登録しています。

ボランティアによる浴衣の着付け支援

京丹後市教育振興計画を策定します

■京丹後市教育振興計画の策定
【教育費】192万円
（教育委員会事務局　教育総務課）

平成25年度から、教育のまちづくりを進めるため、京丹後市教育の基本理念や基本施策を定める「京丹後市教育振興計画」の策定に取り組んでいます。平成27年度から10年間の計画期間として、平成26年度中に計画を策定することとしています。

第3回京丹後市教育振興計画策定委員会の様子

カヌーを通して本市の魅力を全国に発信します

■全国高等学校総合体育大会開催に向けた準備
【教育費】（新規）216万円
（教育委員会事務局　社会教育課）

平成27年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技が久美浜湾カヌー競技場で開催されるため、京都府高等学校体育連盟とともにカヌー競技の事務局を設置し、大会に向けた諸準備を進めます。

平成21年度全国高校総体の様子（久美浜カヌー競技場）

■小・中学校スクールサポーターの設置
【教育費】（拡充）9,555万円
（教育委員会事務局　学校教育課）

特別な支援を要する児童生徒の指導計画を作成し、個々に応じた指導を計画的・継続的に実施するため、介護職員を配置します。また、学校再配置、学校連携、小中一貫教育など、円滑な教育活動を推進するとともに学校経営の安定を図るため、必要な学校に教員資格のある講師を配置します。

中学校では、生徒が持つ悩みや不安を和らげ、心にゆとりを持つことができるよう支援するため、全ての中学校に相談員を配置します。

配置人数：小学校33人・中学校16人

スクールサポーターによる授業支援の様子

地域コミュニティ活動の充実・強化のために

■市民協働のまちづくり事業補助金
【総務費】1,600万円
（市民部　市民協働課）

地域コミュニティの充実及び強化を図るため、地区等が行う地区所有施設の整備（1件あたりの事業費が3万円以上100万円未満のもの）や村づくり・地域づくりなどに要する経費に対して補助金を交付し支援します。

平成25年度にリフォームした吉沢公民館談話室
（弥栄町吉沢区）　※畳からフローリングに改修

住みよい地域社会の実現に向けて

■地域振興交付金
【総務費】1億2,647万円
（市民部　市民協働課）

市民が自主的かつ主体的に行う住民自治活動を尊重及び応援し、市と地域との協働を推進するため、各町の区長連絡協議会に地域振興交付金を交付します。

地域生活環境の整備（峰山町小西川の清掃）

交付対象経費
- 文書配付等、市からの依頼に基づく取り扱い事務
- 地域生活環境の整備
- 地域福祉の向上
- 安全・安心な地域づくり
- その他、良好な地域社会の維持及び形成に資する事業

■地域集会施設整備費補助金
【総務費】3,235万円
（市民部　市民協働課）

地域コミュニティ活動の充実及び強化を図るため、活動の拠点となる地区所有集会施設等の整備に対して補助金を交付します。

今年度は、峰山町11区における集会施設新築事業のほか、8地区の修繕事業を支援する予定としています。

平成25年度に新築した公民館

井辺公民館（弥栄町）

畑公民館（久美浜町）

市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展のために

■市民力活性化推進プロジェクト事業補助金
【総務費】400万円
（市民部　市民協働課）

市民活動団体などが実施する地域の活力向上や課題解決に向けた取り組みを対象に、市民力活性化推進プロジェクト事業補助金を交付します。

昨年度補助金を活用して実施した
子ども達をスポーツ障害から守る肘肩検診の様子

平成27年度の第2次計画策定に向けて意識調査を行います

■男女共同参画意識調査
【民生費】（新規）103万円
（市民部　市民課）

平成27年度に策定する予定の「第2次京丹後市男女共同参画計画」の参考資料とするため、市内在住の成年男女2,000人を対象に、アンケートによる「男女共同参画に対する意識調査」を行います。（前回は、平成22年度に実施しています。）

○実施時期：平成26年8月（予定）

第1次京丹後市男女共同参画計画冊子

水洗化率の向上を図ります

■高齢者世帯の水洗化推進支援
【衛生費】1,520万円
（上下水道部　普及推進・料金課）

65歳以上の方のみで構成される高齢者世帯の下水道への接続を後押しするため、既存住宅の新規排水設備工事に対する補助金5万円に加え、次の各区域の期間内に当該工事を行った高齢者世帯には補助金を15万円追加し、高齢者世帯の生活環境の改善に寄与するとともに、下水道の普及促進を図ります。

○公共下水道・集落排水処理事業の区域
　供用開始後3年以内

○市設置型浄化槽整備区域
　当該区域の告示の日から3年以内

※なお、平成25年3月31日以前に供用開始がされた区域または市設置型浄化槽整備区域の告示がされた区域では平成25年4月1日以後3年以内の工事を対象とします。また、当該工事費が補助額より少ない場合は当該工事費の額が補助額となります。

■子ども・子育て支援事業計画の策定
【民生費】184万円
（教育委員会事務局　子ども未来課）

子ども・子育て支援新制度
国のシンボルマーク

平成25年度に実施したアンケート調査から子ども・子育てに関するニーズ量等を把握・分析し、平成27年度から5年間の「京丹後市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

親子で本に親しむ環境づくりを進めます

■「ブックスタート」の実施
【教育費】（新規）24万円
（教育委員会事務局　社会教育課）

ブックスタート事業は、乳幼児健診などの機会に、「絵本」をプレゼントすることによって、読書を通した親子のふれあいの機会を提供する事業です。

これまで、健診の担当課と協力して、4か月健診時に絵本の読み聞かせ、絵本の紹介、図書館事業の案内等の配付により「赤ちゃんと保護者が絵本を楽しむ体験」を持つきっかけづくりを実施してきましたが、実際に「絵本」を手渡すことにより、いつでも本に触れることのできる環境づくりを更に進めることができ、生まれた環境にかかわらず、絵本に触れる機会や絵本を開く時間を全のて子どもと保護者に提供していきます。

絵本の読み聞かせの様子

文化力を活用したまちづくり

■地域文化づくり事業の推進
【教育費】200万円
（教育委員会事務局　社会教育課）

「地域文化づくり事業」は、丹後文化会館を文化振興の拠点として、地域の資源を活用した文化・芸術活動の掘り起こしを行う「文化の仕掛人」（アートコーディネーター）を京都府と協力して配置し、市民と一緒になって文化の力による地域の活性化とまちづくりを進めます。

世代を越えて交流・意見交換を行う
ジャムセッションの様子

Ⅳ 安心・安全のまちづくりの促進

避難施設に再生可能エネルギーを導入します

■避難施設への太陽光発電設備等の設置
【衛生費】6,857万円
（農林水産環境部　環境バイオマス推進課）

京都府の補助制度を活用し、災害発生時電力供給が停止した場合に備え最小限の電力を確保できるよう、避難所指定されている学校教育施設に対し太陽光発電設備と蓄電池及び非常用コンセントの整備を行います。

○設置予定
　3地域3校（峰山、大宮、丹後）
※平成25年度補正予算での設置予定
　3地域3校（網野、弥栄、久美浜）

峰山庁舎に設置した太陽光発電設備

再生可能エネルギー▶永続的に利用することができるエネルギー源として、太陽光、風力、水力、自然界に存在する熱、バイオマスエネルギーのことをいいます。

■医療確保奨学金貸与事業
【衛生費】1,500万円
（医療部　医療政策課）

市の医療の充実に必要な医師の養成と就業促進を図るため、市立病院、国民健康保険直営診療所のほか市が定める市内医療機関で勤務する意思を有する医師（専門研修医、臨床研修医、大学院生）や、医師を目指す大学生へ修学などに要する資金を貸与します。

貸与を受けた年数と同じ期間を市立病院などの地域医療機関で勤務した場合は、奨学金の返還を免除します。

【貸与金額】
○基　本　額　月額20万円以内
○特定診療科　月額25万円以内（小児科、産婦人科）

くみはまキッズドクター・キッズナースの様子

■子ども医療の給付
【民生費】1億8,011万円
（健康長寿福祉部　保険事業課）

お子さんの健やかな成長を願い、乳幼児、小学生、中学生が医療機関を受診された場合に支払う自己負担金の一部を助成します。京都府内の医療機関は受給者証を提示することにより1医療機関当たり1か月200円の自己負担となります。京都府外で受診された場合は申請により後日給付します。

受診の様子

患者本位の医療体制の充実

■市立病院繰出金
【衛生費】8億4,531万円
（医療部　医療政策課）

京丹後市では、本域において必要な医療を提供するため、2つの市立病院を設置しています。

市立病院では、市内の病院や診療所との連携・協力のもと、救急医療をはじめ産科医療、小児科医療、人工透析医療、リハビリテーション医療、在宅医療などを担っており、こうした医療に必要な経費の一部を負担するため、国が定める基準により、一般会計から病院事業へ繰り出しを行っています。

○弥栄病院　　4億1,420万円
○久美浜病院　4億3,111万円

地域医療を担う市立病院

弥栄病院

久美浜病院

■臨時福祉給付金
【民生費】（新規）2億1,000万円
（健康長寿福祉部　生活福祉課）

平成26年4月から消費税率が8％へ引き上げられましたが、所得の低い方々への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給します。給付対象者は、平成26年1月1日において住民基本台帳に記録されており、平成26年度分の市民税均等割が課税されない方が対象となります。ただし、ご自身を扶養している方が課税される場合や、生活保護制度の対象者となっている場合などは対象外となります。

給付額は、給付対象者1人につき1万円。また、老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金等の受給者や児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者などは5千円が加算されます。

■障害者の就労支援
【民生費】83万円
（健康長寿福祉部　障害者福祉課）

障害のある方の就労を支援するため、市役所で障害者短期職場実習を実施するとともに、障害者職場実習の受け入れ企業へ奨励金を支給します。また、特定就職困難者雇用開発助成事業から引き続き雇用する場合に限り、障害者雇用促進奨励金を支給します。

障害者短期職場実習の様子
（峰山図書館での絵本の読み聞かせ）

特定就職困難者雇用開発助成事業▶障害者等の雇用機会の増大を図ることを目的とした国の事業で、就職に困難な障害者等を職業安定所などの紹介により雇い入れた事業主へ賃金に相当する額の一部を支給する制度です。

■福祉タクシー利用料等助成金
【民生費】624万円
（健康長寿福祉部　障害者福祉課）

福祉タクシー利用券と
福祉ガソリン利用券

在宅で外出困難な障害のある方に対して、タクシー料金の一部を助成する「福祉タクシー利用券」または、自家用車等のガソリン費用の一部を助成する「福祉ガソリン利用券」のいずれかを交付することにより、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進等を支援します。

辺地地域の高齢者宅へ保健師が訪問支援します

■高齢者安心生活の支援
【民生費】86万円
（健康長寿福祉部　健康推進課）

市域中心部から離れた遠隔地域（無医地区、辺地、過疎地域）等に居住する高齢者が健康で自立した生活が送れるように保健師が自宅へ訪問し、健康相談等を行い支援します。

○65歳以上の方が対象です。
※介護保険の要介護認定の方や福祉サービス利用をされている方は、対象外としています。

■障害者への福祉サービス給付
【民生費】14億4,979万円
（健康長寿福祉部　障害者福祉課）

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付などの支援を行い、障害者福祉の増進を図ります。

■有害鳥獣捕獲事業
【農林水産業費】7,195万円
（農林水産環境部　農林整備課）

近年拡大傾向にある有害鳥獣被害対策として、猪や鹿などの有害鳥獣捕獲を猟友会へ委託するとともに、近隣市町（兵庫県豊岡市、京都府宮津市、与謝野町、伊根町）と連携し広域捕獲を実施します。

また、狩猟免許の取得・更新をされる方や猟銃を購入される方に対して、鳥獣捕獲班に加入することを条件に補助金を交付します。

○狩猟免許取得・更新補助　2分の1以内
○猟銃購入補助　2分の1以内（上限15万円）

昨年の広域捕獲の様子（久美浜町蒲井・旭）

■サルの被害軽減対策
【農林水産業費】（新規）1,588万円
（農林水産環境部　農林整備課）

丹後町のサル被害の軽減を図るため、京都府、農業共済組合、猟友会などの関係機関で組織する京丹後市野生鳥獣被害対策協議会へ必要な経費を負担し、個体数調整捕獲に必要な群れの行動調査や大型捕獲施設整備を行います。

また、サル追払い隊が集落を定期的に巡回して、地域が行うサル追い払いのサポートを行うとともに、被害状況調査、防護柵の設置・点検指導を行い、追い払いに必要な花火等の資材を被害集落へ配付します。

花火によるサル追払い活動の様子

安心・便利な総合検診で市民の健康を守ります

■総合検診
【衛生費】1億346万円
（健康長寿福祉部　健康推進課）

健康診査と各種がん検診が一度に受診できる「総合検診」を、5月20日から8月30日まで、地域の公民館等を会場に実施します。

生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を目指し、まず「検診を受ける」ことで健康への意識を高めていただくため、受診人数の増加を目指しています。

節目年齢の方には、対象となるがん検診のご案内を個別に郵送するなど、受診勧奨にも努めています。

また、今年度は、がん検診のみとなりますが、土曜と日曜検診を各1日ずつ実施します。

総合検診の様子

■子育て世帯臨時特例給付金
【民生費】（新規）7,111万円
（健康長寿福祉部　生活福祉課）

平成26年4月の消費税率の引き上げに際し、子育て世帯の負担を軽くするため、児童手当を受給している世帯に、子育て世帯臨時特例給付金を支給します。

支給対象者は、平成26年1月1日現在において、京丹後市で平成26年1月分の児童手当受給者が対象です。ただし、平成25年中の所得が児童手当の所得制限額以上の方や、臨時福祉給付金の対象となっている方、生活保護制度の被保護者となっている方は対象外です。

給付額は、対象児童一人につき1万円です。

くらしに役立つ助成制度や負担軽減制度を紹介します

■くらしの支援ガイド（平成26年度版）の発行
【総務費】241万円
（秘書広報広聴課）

市民の日常生活に関わりが深い子育てや就学、国民健康保険、年金などの助成制度や負担軽減制度、並びに防災、医療機関情報をまとめた「くらしの支援ガイド」を発行（22,300部）し、全戸に配付します。また、本市への転入者にも窓口で配付します。

くらしの支援ガイド（平成25年度版）

地区要望の早期実現に向けて

■地域協働型小規模公共事業
【土木費ほか】2,579万円
（市民部　市民協働課）

安全安心で快適な生活環境の保全及び地区要望の実現促進を図るため、地区要望のうち、小規模で簡易な公共事業について、行政と地域が協働して優先順位、実施箇所、実施方法などを検討し、事業を実施します。

地域協働型小規模公共事業では、市道及び交通安全施設（カーブミラー、ガードレール）の補修、LED防犯灯の設置・修繕などのうち、小規模で簡易なものについて、地域事情を把握している市民局が事業を円滑に実施するほか、市から支給する原材料や機械借上により、地域が自ら労働力を提供して事業を実施します。

峰山町赤坂丹波線の側溝補修

■社会資本整備総合交付金事業
【土木費】2億5,037万円
（建設部　土木課）

社会資本整備総合交付金を活用し、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興を図るための道路新設改良事業を実施します。

◇道路改築
【網野町】郷新田岡線
【久美浜町】栃谷口馬地線、鹿野第一横断線
◇交通安全
【峰山町】下ノ割堂ゴヤ線
◇舗装修繕
【峰山町】呉服二箇
　　前川原線
【弥栄町】丹波島津線
◇府営事業負担金
【網野町】中田橋
【久美浜町】橋ノ坪橋

拡幅改良を予定している
下ノ割堂ゴヤ線（峰山町杉谷）

■橋梁の長寿命化
【土木費】（拡充）4,021万円
（建設部　土木課）

市道橋梁の計画的な修繕を行うための点検を継続的に行い、修繕計画に基づく工事を実施します。

◇橋梁点検
　橋長15m以上 40橋
◇橋梁修繕
　実施設計および工事
　（米田橋ほか5橋）

塗装工事を予定している米田橋
（峰山町長岡）

■社会資本整備総合交付金事業（効果促進事業）
【土木費】5,926万円
（建設部　土木課）

社会資本整備総合交付金を活用し、道路事業とあわせて安心・安全なまちづくり事業を実施します。

◇道路ストックの点検
【京丹後市内一円】　舗装修繕計画、擁壁・法面点検、橋梁点検
◇消防ポンプ自動車整備
【丹後町】多機能型消防ポンプ自動車

舗装修繕を予定している丹波島津線
（弥栄町木橋）

木造住宅の耐震改修工事費を補助します

■木造住宅耐震改修費補助金
【土木費】1,200万円
（建設部　都市計画・建築住宅課）

耐震診断の結果により「地震で倒壊または崩壊する危険性がある」と判定された木造住宅について、現在の耐震基準に適合する耐震補強工事を行う場合に、90万円を上限として、費用の4分の3を補助します。

また、耐震性が確実に向上すると判断される簡易な改修については、30万円を上限として、費用の4分の3を補助します。

■網野地域の内水処理対策
【土木費】（拡充）3億4,684万円
（建設部　土木課）

網野町浅茂川地区の総合的な内水処理対策として、内ヶ森第1ポンプ場の建設工事を河川改修に合わせて実施します。また、網野町網野地区のゲリラ豪雨対策を検討します。

豪雨による浸水（網野町浅茂川）

内水処理対策▶治水対策のひとつで、河川の堤防に守られた地域において排水不良による浸水被害を防止、または軽減する対策

■高齢者運転免許証の自主返納支援
【総務費】180万円
（企画総務部　企画政策課）

市内の高齢者の交通事故防止と公共交通の利用促進を図るため、65歳以上の高齢者等で自動車運転免許証を自主返納した方を対象に、KTRまたは丹海バス路線の「フリーパス」を交付します。

○対 象 者…65歳以上または身体障害者等の市民で運転免許証を自主返納した方
○返納特典…2万円相当のKTRまたはバスのチケット（6か月分）、住民基本台帳カードの無償発行

中山間地域における小規模集落「水と緑の里」の活性化を支援します

■水と緑の里づくり支援員の設置
【総務費】217万円
（市民部　市民協働課）

おおむね10戸未満の小規模集落における自治機能を維持するため、水と緑の里づくり支援員を配置します。今年度は7集落が支援員の配置を希望しています。

平成25年11月にオープンした地元やさいの直売所
「地のやさい　にこにこや」（弥栄町中山区）

最新のデジタル方式に移行

■消防・救急デジタル無線の整備事業
【消防費】2億3,700万円
（消防本部　総務課）

消防救急無線は、災害時の消防活動で最も重要な情報伝達手段として、現場活動の指揮命令や本部との情報連絡用として消防署員や消防団員が使用するものです。

現行のアナログ方式が法改正によって平成28年5月末日で使用できなくなるため、デジタル方式に移行するための整備事業を、平成25年・26年の2か年の継続事業として行っています。

峰山町西山にあるアナログ無線中継所

災害に備えて計画的に備蓄品の整備を行います

■災害備蓄物資等の整備
【消防費】708万円
（企画総務部　総務課）

災害発生時に備え、アルファ米・保存用飲料水・災害用毛布を備蓄物資として購入します。

また、平成26年度からは、避難所に指定した市内小中学校・高校の体育館で使用するための間仕切りと仮設ルームを計画的に購入し、大規模災害により避難所生活が長期化した事態にも備えます。

災害備蓄物資

迅速かつ的確な救急業務

■救急活動業務
【消防費】717万円
（消防本部　総務課）

市民の生命を守る救急業務について、万全の体制で臨むため、資機材の点検整備を行うとともに、救命率の向上のため、丹後メディカルコントロール協議会を通じて救急活動の検証を行い、救急隊員の資質向上に努めます。

高規格救急車（峰山消防署）

丹後メディカルコントロール協議会▶地域の救命率の向上をめざし、救急活動の検証や救急隊員の研修などを行う、医療・消防・行政で組織する協議会

Ⅴ 健全な行財政基盤づくりの推進

地域にぎわい創り推進員を市民局に複数配置

■地域にぎわい創り推進員の増員配置
【総務費】（拡充）2,434万円
（市民部　市民協働課）

地域の特性や特徴を活かしつつ、市民と行政との協働による地域自治活動等の活性化を推進し、良好な地域社会の形成及び振興をより一層推進するため、各市民局に配置している「地域にぎわい創り推進員」を今年6月から2人体制に拡充します。

地域で活躍する地域にぎわい創り推進員
（平成25年6月　丹後町立岩周辺での海岸清掃開始式）

地域にぎわい創り推進員の業務
- 地域まちづくり計画の策定
- 自主防災組織の設置促進
- 区長連絡協議会の庶務
- 域学連携事業の支援
- コミュニティビジネスの応援
- 地域の特性または特徴を活かした地域活性化の推進
- その他、市長が特に必要と認めた活動

京丹後市の魅力を市内外に発信

■京丹後市市勢要覧作成業務
【総務費】（新規）1,059万円
（秘書広報広聴課）

市制10周年を機に、改めて本市の魅力や施策を広く市内外に発信するため、市勢要覧を発行します。

3部（本編、資料編、10年のあゆみ）構成で作成し、10月には全戸配付の予定としています。

平成17年度に作成した市勢要覧

■「行政対応対策専門員」の設置
【総務費】（新規）250万円
（企画総務部　総務課）

市行政に対する不当な要求や言動等に対応するため、外部からノウハウを有する方を専門員として採用します。

専門員は、非常勤職員として委嘱し、職員からの相談、指導及び対策にあたるとともに必要に応じて各庁舎へも出かけ、対応します。

「わかりやすい市役所」づくりを進めます

■庁舎再配置事業
【総務費】（新規）1,453万円
（企画総務部　企画政策課）

更なる行財政の効率化と「わかりやすい市役所」づくりを目指し、本庁機能の集約を含め今後の庁舎の在り方を具体的に検討するとともに、地域の活性化を目的とした跡地利用について調査、研究を行います。

京丹後市役所　峰山庁舎

市民総幸福のまちづくりを目指して

■幸福度指標等の研究
【総務費】（新規）141万円
（企画総務部　企画政策課）

「市民総幸福の最大化を目指したまちづくり」に向け、経済的な豊かさだけではなく、健康や環境、人との関係をはじめ多様な価値観、幸福感など市民の幸福とまちづくりに関する事項（条例化の検討を含む）の調査、研究を実施します。

住民の幸福実感向上を目指す
基礎自治体連合「幸せリーグ」設立総会

幸せリーグ▶住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合のことで、真に住民本位の自治体運営を実現し、誰もが幸福を実感できるあたたかい地域社会を築いていくために、全国55の市区町村で組織しています。

■第2次京丹後市総合計画の策定
【総務費】535万円
（企画総務部　企画政策課）

総合計画は、京丹後市の10年後の将来像と、その将来像に向けた各種施策を表す、まちづくりの基礎を担う大切な計画です。

平成17年に策定した第1次京丹後市総合計画は、平成26年度末をもって終了します。市民が幸福で将来に明るい展望の持てるまちづくりを進めるため、新たなまちづくりのビジョンとして第2次京丹後市総合計画を策定します。

第1次京丹後市総合計画冊子

業務改善や職員能力を向上します

■公務品質向上推進専門委員の設置
【総務費】143万円
（企画総務部　人事課）

市職員の能力向上及び時間外勤務削減などを民間の視点により業務改善を行うため、公務品質向上推進専門委員を設置します。

公務品質向上推進専門委員会の様子

親しまれる市役所を目指して

■「総合窓口案内係員」の設置
【総務費】112万円
（企画総務部　人事課）

親しまれる市役所づくりを目指すため、峰山庁舎玄関ホールに「総合窓口案内係員」を試行的に配置し、来庁される方へ初期相談に応じるなど声掛けや市役所案内を行います。

総合窓口案内係

■まちづくり青年塾の開催
【総務費】8万円
（企画総務部　企画政策課）

今後のまちづくりの中核を担う若い世代の問題意識、発想力などにより、本市の将来ビジョンや施策などを互いに語り合い、育むことで、可能性あふれる京丹後の未来を切り拓くことを目的とした「まちづくり青年塾」を開催します。

まちづくり青年塾の様子

「オリジナルナンバープレート」（ご当地ナンバープレート）を導入します

■オリジナルナンバープレート作製事業
【総務費】（新規）119万円
（財務部　税務課）

市制10周年記念事業の一環として、市民の一体感と地域への愛着心や納税意識の高揚を図るとともに、観光PRの一助とするため、軽自動車税の対象となる原動機付自転車（原付バイク）のオリジナルナンバー（ご当地ナンバー）プレートを作製します。形状やデザインは、公募により決定し、平成27年1月からの交付開始を目指します。

従来型プレートとの選択制とし、新規登録のほか既に登録済みの原動機付自転車についても、希望により交換する予定としています。

写真は宮津市と亀岡市の50cc以下のオリジナルプレート

オリジナルナンバープレートの交付対象は、50cc以下、90cc以下、125cc以下の3種類です。

また、形状やデザインの公募、交付開始の時期等については、市ホームページや広報紙などを通じてお知らせする予定としています。

Ⅴ 健全な行財政基盤づくりの推進

地域の持つ「宝」を生かした 元気な丹後

平成26年度　京都府の主な予算

京都府では、平成26年度までに予定されている京都縦貫自動車道の全線開通等交通基盤整備の進捗を生かし、地域の皆さん、市町と一丸となって、丹後地域をさらに魅力あるまちにしていく「海の京都」事業を推進していきます。また、これからの丹後を担う若い力の育成、健康長寿の丹後地域に暮らす高齢者の安心・安全対策、「食」「自然」など地域の「宝」を生かした観光・産業振興などに取り組み、地域のさらなる発展を目指します。

「海の京都」構想実現に向けた主な事業

■「海の京都」観光振興戦略拠点整備事業　3億7,500万円

各市町が策定しているマスタープランに沿って、地区内の道路、河川、公園などの府施設等を各地区独自の歴史文化に根ざしたデザインで統一し、魅力向上を図ります。

かぶと山展望台イメージ（京丹後市）

■「海の京都」美観事業　5,400万円

民間の観光関連施設の外装整備などを支援し、「海の京都」戦略拠点を、統一コンセプトに沿った魅力ある景観にしていきます。

■「海の京都」周遊ネットワークの整備　1億224万円

北近畿タンゴ鉄道リニューアル支援

北近畿タンゴ鉄道の魅力向上の取り組みを推進するとともに、快適・安全な運行を目指し、引き続き車両の空調設備や内外装をリニューアルしていきます。

昨年秋にデビューしたコミューター車両

周遊バスの利便性向上（「海の京都」海陸周遊整備事業）

宮津から天橋立、伊根、経ヶ岬へと丹後半島を周遊する幹線路線バスの車両を、魅力的な内外装にするための支援を地元市町とともに行います。

振興局の主な独自事業　地域振興計画推進費　1,570万円

■TOMORROW丹後プロジェクト

10～20年後の丹後地域を見据え、地元高校生が企画段階から参画する地域イベントを開催するなど、地域活性化に若い力を生かし、若年層の地元への愛着、誇りの醸成を図ります。

プロジェクトの主なイベント

10月　丹後・食の王国　食と文化の祭典（丹後あじわいの郷）

文化ステージ（25年度）

ばらずし企画（25年度）

■災害に強い丹後の人づくり事業

高い高齢化率、全市町が海岸に接しているなど、丹後地域特有の実情を踏まえた訓練のほか、地域を守る防災リーダーの育成講習会など、市町との連携により、丹後地域の防災・減災対策を推進します。

■山陰海岸ジオパークPR事業

山陰海岸ジオパークの知名度向上や魅力発信のため、モニターツアーの開催、地域の食を生かした取組などを行います。

■京都ジオトレイン（仮称）運行事業

北近畿タンゴ鉄道の利用促進・観光誘客のため、「あかまつ」「あおまつ」に続くリニューアル車両「くろまつ」を活用し、府内の山陰海岸ジオパークを巡るツアーを実施します。

「丹後くろまつ号」（平成26年5月25日運行開始）

「明日の京都」丹後地域振興計画

産業振興による丹後地域の活性化

■「丹後・食の王国」プロジェクト

丹後あじわいの郷を核に「丹後・食の王国構想」を推進

丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業　1,380万円

首都圏での商談会や都市部での丹後産品販売フェアなどを通じて丹後の食を売り込むとともに、丹後あじわいの郷で「学生レストラン」を実施するなど、「丹後・食の王国」の取り組みを進めます。

「丹後・食の王国」を支える担い手づくり

農業経営実践学舎づくり事業　8,034万円

「丹後農業実践学舎」において、大規模営農技術や加工・流通・販売の総合的な実践研修を実施します。

学生レストラン

丹後農業実践学舎

明日の「京都村」づくり事業　4,200万円

地域ぐるみで意欲的に農山漁村ビジネスや集落維持・発展活動に取り組む農山漁村集落を支援します。

野生鳥獣被害総合対策事業　4億4,826万円

有害鳥獣捕獲や捕獲の担い手育成、地域ぐるみの防除対策などを実施し、野生鳥獣被害に強い地域づくりを進めます。

■丹後織物ブランドビジネスモデル推進事業　500万円

新商品開発と販路開拓を支援し、丹後織物の新しいものづくりを全国に向けて発信します。昨年4月、在阪テレビ局で紹介された若手グループ「TANGO＋」など、若い担い手への支援も強化していきます。

催事「世界のTANGO TEXTILE」の様子（10月　阪急うめだ本店）

府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり

■地域力再生プロジェクトの推進　3億4,368万円

「自分たちの地域をみんなの力で何とかしたい」というボランティアグループ、NPO法人、自治会など地域に暮らす皆さんの地域力再生活動を京都府と市町が連携して応援しています。

【募集期間】（第1次）4/1（火）～6/2（月）
（第2次）9/1（月）～9/30（火）
【補 助 率】府と市が協働で2/3など

和舟（丸子舟）を復活し、地域の取り組みに活用（NPO法人わくわくする久美浜をつくる会）

p.24　京丹後市「市民力活性化推進プロジェクト事業補助金」と同時に申請していただけます。

■京都式地域包括ケア推進費　21億1,221万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「あんしん社会」を構築するため、認知症プロジェクトや看取りプロジェクトなどオール京都体制で医療や介護、福祉のサービスを一体的に提供する「地域包括ケア」の取り組みを推進します。

「看取りシンポジウム」の様子（3月　アグリセンター大宮）

■緊急輸送道路の安心整備（生活・交通基盤整備事業）　234億3,957万円

自然災害時に力を発揮する道路ネットワークづくりの一環として、幅の狭い区間をなくしていくため、国道312号（京丹後市 野中バイパス、京丹後市 永留・橋爪工区）、国道482号（京丹後市 丹後弥栄道路）などの整備を進めています。

環境と文化の伝承

■山陰海岸ジオパーク推進事業　1,110万円

『牡蠣棚・夜明けの詩』山陰海岸ジオパーク写真コンクール特選作品（久美浜湾）

26年度の世界ジオパーク再認定を目指し、ジオパークの地質資源の保全のため、学術交流を推進します。

山陰海岸ジオパーク

■地域文化づくり事業　400万円

「文化の仕掛人」（アートコーディネーター）を、市町と協力して府内に2名配置し、文化資源を活用した活動への支援や、アートによる地域資源の掘り起こしを地域の皆さんと一緒になって行うなど、文化による地域の活性化を進めます。丹後地域では、京丹後市と協力して1名を配置します。

ジャム セッション

p.25 京丹後市「地域文化づくり事業の推進」との連携事業です。

※額は全て平成26年度当初予算（府域全体に係るもの）です。1万円未満四捨五入。

グラフでみる きょうたんごの予算

参考

ご覧いただく際の参考にしてください。

●**市の予算は、『年度』という期間を使っています。**

平成25年度とは、平成25年4月1日から平成26年3月31日までをいいます。

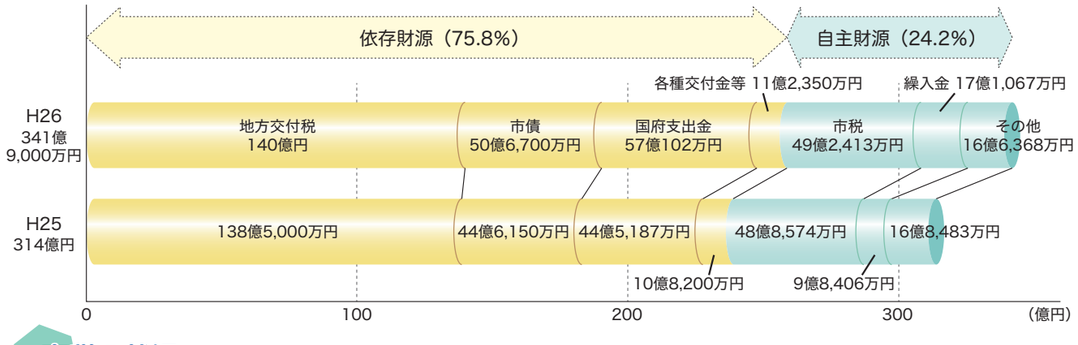
平成26年度とは、平成26年4月1日から平成27年3月31日までをいいます。

●**京丹後市の人口　5万8,882人**（平成26年3月31日現在の住民基本台帳による数値です。）

市の借金や貯金の、市民1人あたりの金額を計算する基礎に使いました。

平成26年度の収入の内訳

市の収入で一番金額の多いものは、国から配分される地方交付税の140億円で、次いで国庫支出金57億102万円、市債（借金のことで、地方債とも呼ばれます）50億6,700万円の順となっています。

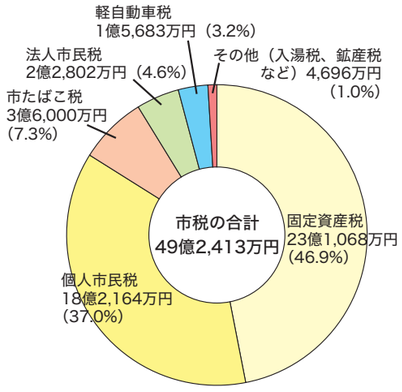


市税の状況

〈市税の内訳〉

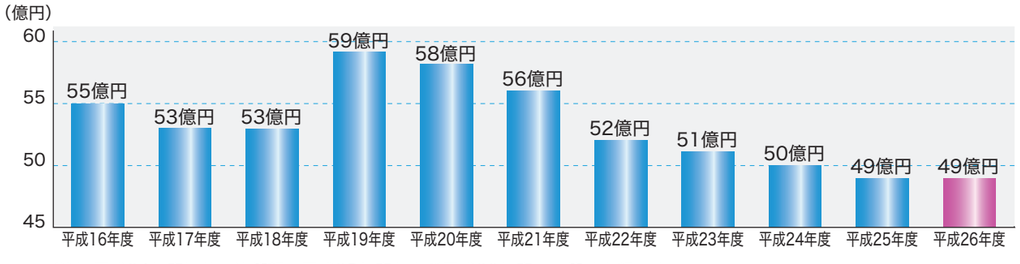
京丹後市の市税は、**市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、鉱産税、入湯税**などがあります。

市税の内訳をみると、固定資産税が23億1,068万円で市税の約5割近くを占めており、次いで個人市民税が18億2,164万円、市たばこ税が3億6,000万円となっています。



〈市税の推移〉

平成19年度の税源移譲で所得税（国税）が減少し個人市民税（地方税）が増加したことにより、一時的に市税収入は伸びましたが、近年では、年々減少傾向にあります。平成26年度については、個人市民税が、東日本大震災からの復興の関係で均等割額が500円増加（H26～H35年度）することによる増収を見込み、市税全体としては0.8%の微増となっています。

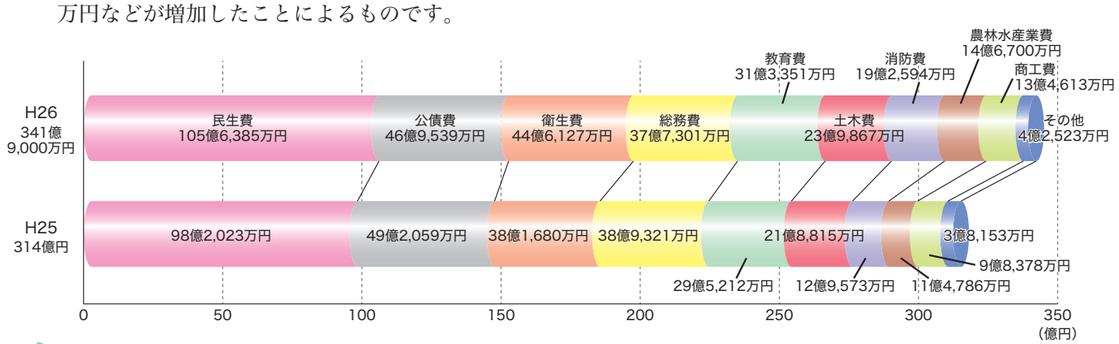


（注）平成24年度以前は決算額、平成25年度および平成26年度は予算計上額です。

平成26年度の支出の内訳

平成25年度と平成26年度の一般会計予算を、その目的ごとにグラフで表しました。平成26年度の予算でみると**民生費**（老人福祉、児童福祉など）が105億6,385万円と最も多く、次いで**公債費**（借金の返済金など）の46億9,539万円、**衛生費**（医療対策、環境保全など）の44億6,127万円、**総務費**（地域振興、情報化推進など）の37億7,301万円、**教育費**（教育総務、社会教育など）の31億3,351万円という順になっています。

平成25年度と比較すると、民生費が7億4,362万円増加しています。これは、臨時福祉給付金給付事業で2億2,936万円、障害福祉サービス事業で1億6,005万円、子育て世帯臨時特例給付金給付事業で7,527万円、弥栄統合保育所整備事業で8億174万円などが増加したためです。また、衛生費も6億4,447万円増加しています。これは、予防接種事業で4,804万円、火葬場建設事業で3億7,352万円、水道事業会計操出金で4,953万円などが増加したことによるものです。



性質別支出

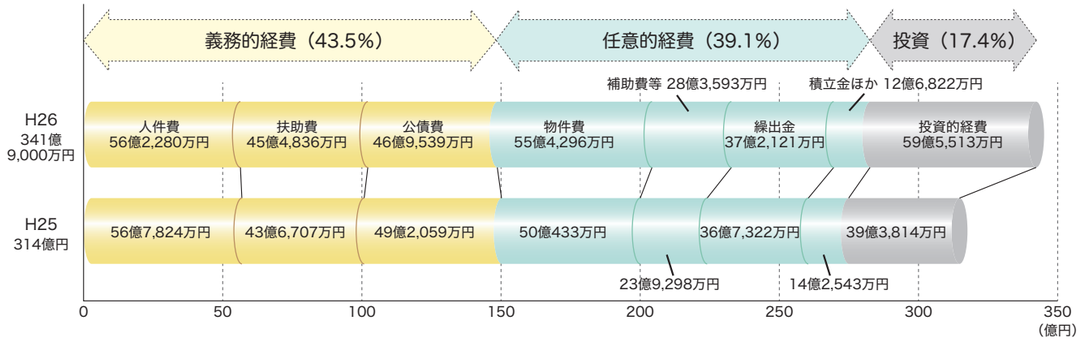
平成26年度の一般会計予算をその性質ごとにグラフにしました。

人件費（職員の給料など）、**公債費**（借金の返済金）のように性質的な見方で区分した予算を**「性質別予算」**といい、上記の目的別予算とともによく利用されます。

平成26年度の予算でみると、**投資的経費**（工事請負費や用地購入費、災害復旧費など）が59億5,513万円と最も多く、次いで人件費の56億2,280万円、**物件費**（臨時職員の賃金、光熱水費、委託料など）の55億4,296万円、**公債費**の46億9,539万円という順になっています。

人件費、公債費および**扶助費**（生活保護費、医療給付費など）は、必ず支払わなければならない経費であり、**義務的経費**といいます。この義務的経費の割合が高くなると、市民のみなさんへの助成金や道路の改良工事などを縮小しなくてはならないことになります。

また、収入（特に税金など）が減ると、**任意的経費**（補助金、施設の管理費など）や投資的経費をより多く削減する必要があり、市が独自に事業を実施したくてもできない、いわゆる**「財政の硬直化」**が進むことになります。



■義務的経費…給与（人件費）、借金の返済金（公債費）、生活保護費（扶助費）など、法令などにより支出が義務づけられている経費です。

■任意的経費…市の判断により任意に支出できる経費。各種団体への補助金や施設の管理経費などがあります。

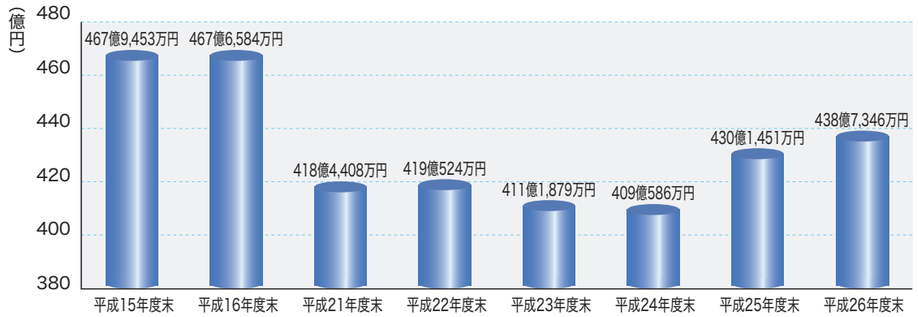
■投資的経費…道路や学校、橋などの社会資本の整備にあたる経費で、工事請負費や用地購入費、災害復旧費などがあります。

京丹後市の市債（借金）と基金（貯金）の状況

一般会計では借金を京丹後市発足以来計画的に削減

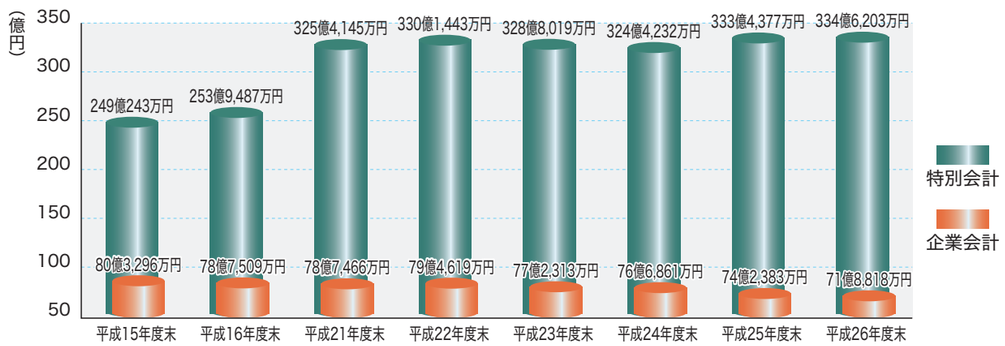
平成26年度末の一般会計における市の借金の現在高見込額は438億7,346万円で、平成15年度末の現在高が467億9,453万円でしたので、合併時から29億2,107万円減少したことになります。しかし、平成25年度末現在高見込と比べると8億5,895万円、平成24年度末現在高と比べると29億6,760万円の増加となっています。これは、新火葬場の建設や小中学校の再配置による校舎の改修工事、統廃合による新保育所の建設、消防・救急デジタル無線の整備や消防指令システムの更新など、平成24年度から平成26年度にかけて一時的に借り入れ額が増加するためです。また、市の借金を市民のみなさん1人あたりの額に換算すると約75万円になる見込みですが、この借金は返済金の一部が地方交付税（国からの交付金）で返ってくるものも含むため、実質的にはこれよりも少ない額になります。

一般会計市債残高推移



※平成25年度末及び平成26年度末は見込み数値

特別会計・企業会計の市債残高推移



※平成25年度末及び平成26年度末は見込み数値

市債（借金）

自治体の借金は、**地方債**または**市債**と呼ばれています。

自治体の予算には、「その年度に使うお金は、その年度に得る収入（市税や地方交付税など）でまかなう」ことを基本とする**「会計年度独立の原則」**があります。

しかしながら、その年度で市民のみなさんからいただく税金や地方交付税などだけでは、多額の費用がかかる施設の建設などの事業を行うことが困難です。また、将来にわたって使用するような施設の建設費を、その年度に住んでいる住民の方だけが負担するよりも、その施設を利用することができる将来の住民の方が借金を返済する形で少しづつ負担するほうが理にかなっています。

そこで、自治体にも、借金をすることができる**「起債」**という制度が定められています。

ただし、後年度負担が増えるため、やみくもに借り入れることは許されず、返済金の一部が後年度に地方交付税として返ってくるようなものを中心として、慎重な借り入れを心がけています。

ひと みず みどり 京丹後

一方、平成26年度末の一般会計における市の貯金の現在高は70億8,069万円になる見込みで、市民のみなさん1人あたりに換算すると約12万円になります。

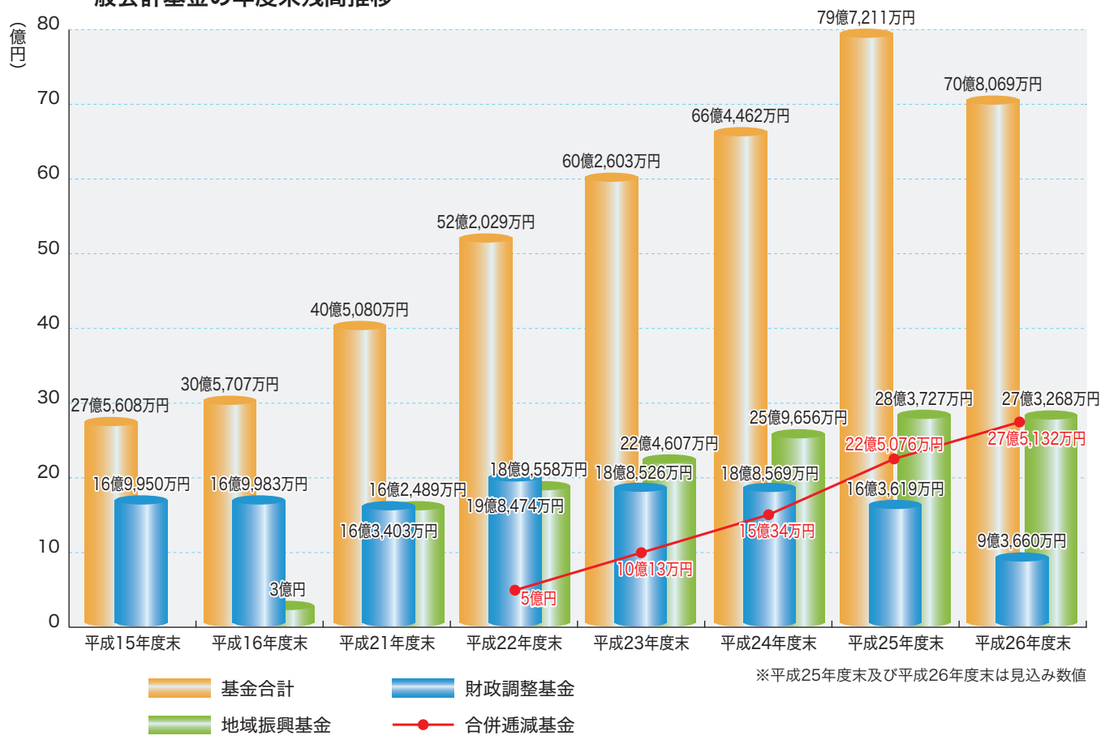
一人あたりの借金75万円から貯金12万円を差し引くと、63万円借金が多いことがわかります。

市では、こうした借金と貯金のバランスや経済の動向を考え、将来にわたるさまざまな財務分析をしながら効率的な財政運営に努めています。

なお、平成26年度末における京丹後市の全会計の借金は845億2,367万円、貯金は74億9,080万円となる見込みです。

一般会計基金の年度末残高推移

一般会計基金の年度末残高推移



※平成25年度末及び平成26年度末は見込み数値

基金（貯金）

市には、土地や建物、物品や債権などさまざまな財産のほかに、一般家庭の貯金に相当する**基金**があります。市の貯金は、**財政調整基金**、**減債基金**、その他の目的基金に大きく分けられます。

●財政調整基金

市ではいつもの年度と比べて収入が少なかったからといって行政サービスを低下させることはできませんし、逆に、いつもの年度より収入が多かったからといって全額使いきるようなことはしてはいけません。このため、余裕なお金があれば貯金として積み立て、災害などによりお金が不足するときは、貯金を取り崩してまかないます。このようにして積み立てられてきたお金が財政調整基金です。

平成25年度末の現在高見込額は16億3,619万円で、平成26年度末には9億3,660万円と貯金の現在高見込みは減っていますが、これは平成26年度予算を編成するため、未確定な特定財源の一時的な代替財源としているためです。基金からの繰り入れは、年度内の調整で可能な限り抑制していきます。

●その他の目的基金

災害対策基金や地域振興基金など、特定の目的を決めた基金です。平成22年度には、**合併特例措置逓減対策準備基金**と**過疎地域振興基金**を創設しました。

いずれの基金も、条例に基づき設置し、管理運用を行っています。

平成26年度の人件費の状況

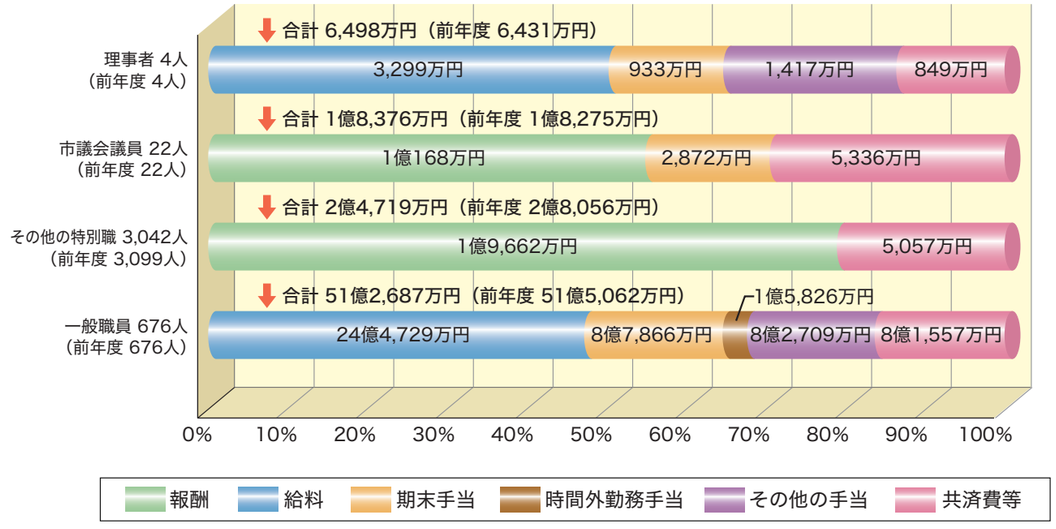
一般会計では人件費が合併時と比べて19億円減少

平成26年度の一般会計における人件費は、総額で56億2,280万円となっています。平成25年度の人件費総額が56億7,824万円でしたので、5,544万円の減額となりました。その主な理由として、職員の計画的な削減や理事者の給与カットがあげられます。

また、合併初年度の平成16年度の一般会計における人件費総額75億7,862万円と比べ19億5,582万円減少しています。

平成26年度の人件費（報酬や給料・手当のほか、共済費も含む）の内訳は、理事者（市長・副市長・教育長）が6,498万円、市議会議員が1億8,376万円、その他の特別職（審議会の委員、消防団員など）が2億4,719万円、一般職員が51億2,687万円となっています。

人件費は、財政を圧迫する要因となることから、今後も行財政改革を推進して適正な職員定員の管理に努めていく必要があります。



特別職や一般職員の給与の決め方

特別職の報酬は、市民の方で構成される「特別職報酬審議会」で検討していただきます。その検討結果をもとに作成した条例の改正案を議会に提出し、議会の議決を経て、報酬の額が決定されます。また、職員の給与の改正は、国の人事院勧告を参考として行われます。職員の給与はすべて条例の規定に基づき支給されています。

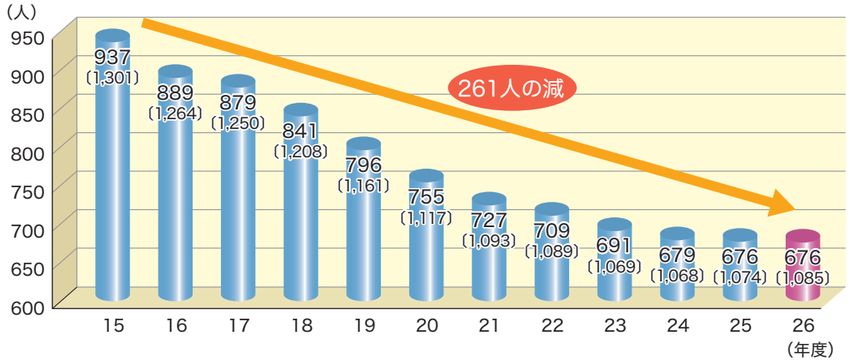
平成26年度は平成25年度に引き続き、歳出削減のため、理事者（市長・副市長・教育長）が独自で給料および期末手当のカットを行います。

〈平成26年度給与等特例措置〉

市長 ―――→ 給料と期末手当を10%カット
副市長、教育長 ―――→ 給料と期末手当を　5%カット

一般会計における職員数の推移（各年度の4月1日現在で比較しています）

合併前の平成15年度と平成26年度を比較すると、261人の減となっています



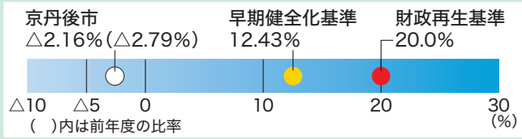
平成26年度の一般会計職員数は676人で、前年度と同人数となっています。主な内訳は、新規採用者の増が21人、再任用短時間勤務職員の増が5人、退職による減が26人となっています。

※〔　〕内人数は病院医師などの公営企業等会計部門も含めた京丹後市全体の職員数の推移です。全体の職員数では合併前から216人減少しています。

健全化判断比率などの状況（平成24年度決算より）

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」の施行に伴い、平成19年度決算から指標の公表が、平成20年度決算から財政健全化計画などの策定が義務づけられました。平成24年度決算における京丹後市の健全化判断比率は4つの指標すべてで早期健全化基準を下回り、病院などの公営企業の事業会計についても資金不足が生じることはありませんでした。

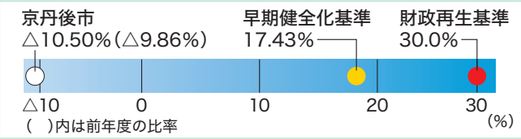
実質赤字比率 ➡ 黒字のため 該当なし



一般会計における赤字の程度を示す指標。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。

平成24年度一般会計決算は黒字のため該当しませんが、数値化すると△2.16%となります。

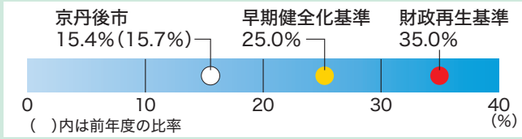
連結実質赤字比率 ➡ 黒字のため 該当なし



特別会計や企業会計などすべての会計を合算して算出する、市全体の赤字の程度を示す指標。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。

平成24年度の連結決算は黒字のため該当しませんが、数値化すると△10.50%となります。

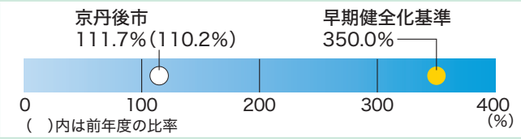
実質公債費比率 ➡ 15.4%（基準の範囲内）



借入金の返済やこれに準じる額の大きさを示しています。数値が大きいほど、資金繰りが悪化していることを表します。

平成24年度の3か年平均は、前年度と比較して0.3ポイント改善して15.4%となり、早期健全化基準（25.0%）を下回りました。

将来負担比率 ➡ 111.7%（基準の範囲内）



借入金や将来的に支出することが見込まれる現時点での残高を示しています。数値が大きいほど将来、財政を圧迫する可能性が高いことを表します。

平成24年度は、前年度と比較して1.5ポイント増加して111.7%となりましたが、早期健全化基準（350.0%）は下回りました。

資金不足比率

黒字のため
該当なし

公営企業の料金収入の規模に対する資金不足額の程度を示す指標。数字が大きいほど経営が深刻化していることを表します。

平成24年度はすべての企業会計・特別会計で資金不足比率は生じていません。

なお、資金不足比率の対象となる会計は、水道事業、病院事業、簡易水道事業、集落排水事業、公共下水道事業、浄化槽整備事業、工業用地造成事業、宅地造成事業の8つの会計です。

京丹後市の財政状況を京都府内の市と比べると

H24財政力指数

地方税の収入能力、普通交付税に依存する度合いがどの程度かを示すもので、基準財政収入額を基準財政需要額で割って算出します。地方交付税を算定する基準となり、財政力指数が高いほど財源に余裕がある団体といえ、1.00を超えると普通交付税の不交付団体となります。

【分析】
財政力指数は0.35から0.33と下がっており、依然として市税などの自主財源が少なく、収入より支出の規模のほうが多い財源状況となっています。市税の徴収強化や人件費をはじめとした支出の見直しなど行財政改革をいっそう推進する必要があります。

財政力指数（3か年平均）
［高いほうがよい］

長岡京市	0.83
宇治市	0.79
京田辺市	0.74
舞鶴市	0.73
向日市	0.69
八幡市	0.67
城陽市	0.64
木津川市	0.64
亀岡市	0.58
福知山市	0.52
綾部市	0.47
宮津市	0.41
南丹市	0.34
京丹後市	0.33（前年 0.35）
府内平均（京都市除く）	0.54
市平均	0.60
町村平均	0.46

資料：平成24年度地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省HP）
（注）平成22年度から平成24年度までの平均値

H24経常収支比率

その地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使用されるもので、人件費、扶助費、公債費など歳出の経常経費の一般財源に市税、普通交付税、地方譲与税などの経常的な収入の一般財源がどの程度充てられるかを示すものです。経常収支比率が高い団体は、財政構造が硬直化傾向にあるため、経常的経費の抑制に努める必要があります。

【分析】
経常経費の抑制や交付税の増加に伴う経常的な収入の一般財源が増加したため、経常収支比率が90.7%から90.6%と0.1ポイントの改善となりました。
市税などの一般財源は依然として減収が見込まれるため、経常経費の抑制にいっそう努める必要があります。

経常収支比率（%）
［低いほうがよい］

福知山市	88.0
南丹市	89.8
京丹後市	90.6（前年 90.7）
舞鶴市	90.7
宇治市	91.4
京田辺市	91.9
綾部市	92.4
木津川市	92.9
宮津市	93.1
長岡京市	94.3
亀岡市	94.6
八幡市	94.7
城陽市	96.3
向日市	97.1
府内平均（京都市除く）	91.6
市平均	92.7
町村平均	90.2

資料：平成24年度地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省HP）

H24実質公債費比率

地方公共団体の標準財政規模に占める借金返済額などの割合を示します。一般会計だけでなく、特別会計や企業会計などの借金のほか債務負担行為なども加えた比率です。18%以上になると、地方債の発行に際し知事の許可が必要になり、25%以上になると一般単独事業などに係る地方債の発行が制限されます。

【分析】
将来にわたる債務負担行為の抑制や市債の繰上償還などにより、15.7%から15.4%と0.3ポイントの改善となりました。
地方債許可団体への移行基準である18.0%には達していませんが、地方公共団体の財政信用力を示し、市債発行の基準となる重要な指標ですので、その動向に留意する必要があります。

実質公債費比率（%）
［低いほうがよい］

八幡市	1.7
長岡京市	3.0
向日市	3.3
宇治市	3.5
京田辺市	6.4
舞鶴市	10.4
福知山市	10.8
木津川市	12.3
城陽市	12.6
亀岡市	13.3
綾部市	13.5
京丹後市	15.4（前年 15.7）
宮津市	15.6
南丹市	17.1
府内平均（京都市除く）	10.7
市平均	9.9
町村平均	11.8

資料：平成24年度地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省HP）
（注）平成22年度から平成24年度までの平均値

この「わかりやすいことしの予算」に関するご意見や不明な点がありましたら、
京丹後市役所　財務部　財政課（℡0772-69-0160）へお気軽にご連絡ください。